無産階級闘爭雜誌

進め

第五年 二月 第三號

定價十錢

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

誌代一ヶ年分拂込者にマルクス大寫眞を無代贈呈す

■本號一瞥■

□鐵鎖は強し團結せよ……卷頭言
□訓練所の正體……原 重喜
□時事論評……同人
□覇氣に燃えよ……淺井岩武
□日本勞働組合聯合の新提唱と其の意圖……長尾桃郎
□吾等の第一戰……太田增美
□勞働組合主義の展開！進出!!……佐藤護郎
□資本主義の罪惡……倉澤生
□日本勞働組合運動の新傾向を論ず……望月源治
□戰線の擴大……加藤一郎
□共産主義運動の『日本的意義』……澤井龍之助
□大・演説會の記……長野支局
□端書回答最近の感想……學者・社會運動家思想家三十名
□資本の暴虐……好陽生
□健康保險法と黃金萬能思想……布施辰治
□假面を剝げ！……梅本國治
□殖民政策裏面研究……金 熙明
□奮然蹶起……小川健作
□戯曲理想社會の夢……行村義雄
□着用道德施政……潘踏宇
□英國の勞働運動……淺野研眞

陸離たる光彩を放つ本社出版物

第二十版 マルクス寫眞集

内容

マルクスの生家、マルクス夫人、マルクスの原稿、マルクスの博士免狀、マルクスの署名、マルクスの旅行免狀、ロンドン亡命中のマルクス、ロンドンに於けるマルクスの住宅、資本論執筆時代のマルクス、晩年のマルクス、マルクスの墓の十一枚。四六倍版アート紙、印刷鮮明、極めて美麗。

本社編纂 一部五拾錢 送料四錢

第二十版 社會思想家寫眞集

内容

サンシモン、フーリエ、オーエン、プルードン、マルクス、バクーニン、エンゲルス、ウヰルヘルム・リープクネヒト、カール・リープクネヒト、クロポトキン、ラツサール、レーニン、トロツキーの拾三枚。四六倍版アート紙印刷鮮明、極めて美麗たり、無產階級の永久に記念すべきものである。

本社編纂 一部五拾錢 送料四錢

第拾版 日本勞働運動小史

内容

明治大正を通じての日本に於ける勞働者解放運動の全分野に渉つて、細大漏らさず僅か百三十餘頁の内に收めた手頃なパンフレットである。尚は卷末に附せられたる統計、文獻、年表は用意周到な貴重なものだ。苟も日本プロレタリア運動の史的背景を知らんとする者は必ず一本を備ふべきだ！

淺野研眞述 定價五拾錢 送料四錢

二月發行 生きる權利と儲ける權利

内容

生は權利だ、人間として生を享けた以上は何人と雖生きる權利がある、然るに資本主義は不當に與へられたる無產階級の權利を剝奪してゐる。本書は不合理なる現制度を解剖して、人間權の奪還を叫び、無產者の進路を示せる絶好の社會主義入門書である、眞理を摑まんとする無產青年は讀め！

吉田源藏著 定價拾錢 送料二錢

二月發行 農民諸君に與ふ

内容

横暴例ふるにものなき地主の虐殺的搾取に、憤激置く所を知らざる農民諸君！農村の疲弊、田地の荒廢、青年の離村、而して諸君の經濟的窮迫等々の、所謂農村問題に對し、鬱然擡頭せる近代社會思想は何を以つて之を解決せんとするか？農民諸君は擧つて、本書の示す社會主義陣營へ來たれ！

神庭仲之介著 定價拾錢 送料二錢

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

吾等の主張

一、資本主義制度を解剖して大衆を啓蒙す、

一、社會思想を解説して非搾取の社會を建設す、

一、解放團體の分裂を防止して全無産階級の團結を企圖す、

一、社會運動を鞭韃して戰闘精神を振作す、

一、無産階級の擡頭を妨害するものを討伐す、

第五年・戰闘・進め・雜誌・第二號

鐵鎖は強し、團結せよ

■吾等の敵は資本主義であつて同志、朋黨でない。總ての無産者團體は解放の理想に向つて或は正面より、或は側面より突進しつゝある。

■故に右傾も左傾も又小兒病も存在の理由がある。徒に感情や、利害や、又空論の爲め闘爭を事とするは吾が聖語、萬國の無産者團結を詐るものである。

■團結なくして解放運動は起らない。個々の力、眇たる一團の力、脆弱、焉んぞ克く資本制度を倒すに足らんや。

■吾等は世界を支配すると信ずる所以のものは、無産者が人類の大部分を占有するからである。而して此の結束の力は强固、新社會を建設するに可能である。

■昨年起つた政黨運動は組合の分裂、團體の攪亂を惹起した。而して今尙、吾が無産同志は敵資本主義を前にして互に醜惡な爭を續けつゝあり。

■彼の相嚙む猛獸は其の種族減少する。相扶くる群居鳥獸は繁殖する。人類界亦然り、爭ふ者は滅び、和する者は榮ゆ、生物學の原理豈吾を詐かんや。

■無産階級の歷史的使命や、團結を俟つて初めて完成する。團結なくして何ぞ解放あらんや、何ぞ新社會あらんや、一黨や一閥や夫れ何する者ぞ、大衆より觀れば一私黨のみ、而して其爭ふは自ら傷ふものに非ずして何ぞ。

■予は吾が無産者が互に排擊の矛を收め、以つて共同戰に出で單一政黨、總聯合を完成せん事を切望して止まず。

■吾が同胞兄弟よ、鐵鎖は强し、結束して敵に當れ、團結して斷て。

時事評論

同人

大衆を裏切る農民黨

——無産者は起って之を撲滅せよ——

■組合主義的經濟闘爭より、全面的政治闘爭へ花々しく進軍しつゝある最近の無産階級運動を巧みに利用し、自らの政治的野心遂行の爲めに、農民大衆を踏臺にせんとする老猾なる策略によつて生まれた日本農民黨は、昨年十月結黨以來、全勞農大衆の峻烈なる攻擊の刄を受けつゝ辛うじて崩滅に近き餘喘を保つてゐる。

■彼等は、嘗つて同愛なる美名に隱れて水平運動を破壞せんとした無産階級の敵、華族有馬頼寧及び、政本黨總裁床次竹二郎の代筆を勤め、常に社會運動を妨害しつゝある反動的ファーシスト高畠素之を幹部に戴き、總裁として、新潟縣會議員で女郎屋を經營し、無産階級子女の膏血を搾取しつゝある須貝快天を戴いてゐる。其他、黨の中心人物は凡て之れ無産階級の敵のみである。彼等は如何に辯解の辭を盡すと雖、我が無産大衆は何ぞ斯くの如き政黨を無産政黨として認むを得んや。

■彼等の掲ぐる『社會的正義の實現』及び『日本民族の發展』なる綱領は、明らかに、國家主義を基調としたる反動主義者の原則的信條と寸毫の差違もないことを示してゐる。

■結黨式當日、彼等は地方の協調的組合の幹部に對し、一切の費用は黨に於て負擔するから東京見物旁々是非出席して慾しいと云ふ勸誘狀を發し、地方の農民に若干の金員を與へ、無理矢理上京せしめたこと等も顯著な事實である。

■彼等の目的は無産農民の解放ではなく、自らの政治的野心の遂行にある。彼等の行動は無産階級的理論を基調としたものではなく、既成ブルジョア政黨の行動其ものゝ踏襲である。

■無産階級の敵を幹部に戴き、大衆への裏切り行爲を公然と演じ、社會運動に一大汚點を殘さんとしつゝある反動的御用政黨日本農民黨に對し、全國の勞農大衆は、より酷烈なる彈劾の矢石を放つべきである。『農民は農民黨へ！』と云ふ皮相淺薄、固陋醜怪なるモットーを敢して恥ずる所なき潛稱無産政黨日本農民黨を葬れ！

■農民諸君は、無産階級を裏切りブルジョアに降服したる彼等詐欺師等の、反動的詭辯に斷じて迷はさるゝ勿れ。

總選擧の對策如何

——無産政黨は準備を急げ——

■昨年連續的に生まれた我が無産諸政黨は、燎原の火の如き勢を以て既成政黨の地盤を蠶食しつゝある。政府及び既成政黨は此の無産諸政黨の發展を見て戰慄した。然し彼等は虛勢を張るべくブルジョア新聞を通じて、無産政黨恐るゝに足らずと壯語してゐるが事實、絶大なる脅怖を感じてゐる事は云ふ迄もない。

■翻つて吾が無産政黨の近狀を顧みるに、各黨互に勢力爭ひに沒頭し、他黨の排擊と罵倒に、

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日も是れ足らざる醜體を演じつゝあるのは、誠に嘆かはしい次第である。

■吾々は勞農黨にせよ、日勞黨にせよ、民衆黨にせよ凡て之れ無產階級の政黨である以上は、共に等しく、其の發展のより大ならんことを望んで可なりと信ずる。勿論各々の持つ所の異つたる指導精神に對しては、無條件に之れを承認すべからざるも無產階級解放運動の一手段としての政治運動と云ふ階級的立場に立つ時、右の諸政黨の何れも充分其の存在理由はあると認める。然し其の行動が無產階級の現實的要求に卽しないものに對しては此れを放任して置く事は出來ない。例へば勞農黨の如く徒らに觀念的理論の羅列のみを以て能事終れり矣として居るもの等には、無產階級の立場から其れが行動を攻擊するに躊躇してはならない。

■ブルジョア代辯者を一掃しなければならない總選擧を目前に控へた各無產政黨の選擧對策は未だ充分に備つてゐない。各黨の協議會等に就いて見るに、甲論乙駁、只議論の花を咲かすのみで確固とした政策はない。解散となれば三ケ月位で選擧は執行されるのであるから速かに其れが對策を講ずべきである。

■如何にしてブルジョア代辯者を一蹴するか、保證金を如何にして作るべきか、如何なる方法によつて最大の効果を收むべきか、此れは理屈でなく、實際の問題である。各黨此の對策ありや。此れに對する準備を爲しつゝありや。徒らに排擊運動のみに囚はれ、ブルジョア政黨に立遲れざらん事を望む。

日本勞農黨の職分

■蒋蟻、彗星の如く現れ、蝸牛角上の闘爭に鎬を削つてゐた左右兩翼に、一大センセーションを捲き起した日本勞農黨は、各方面から多大の囑望をかけられてゐる。無產階級の正道を標榜して步む所は實に正々堂々たるものである。

■既に多くの無產政黨はあるが大衆の眞の要望を背負つてゐるのは、獨り日本勞農黨のみであると斷言しても敢へて過言ではない。苟しくも、無產階級の正道を鼓吹し、解放運動の合理化を主張するものは、擧つて彼等に期待する所あらねばならぬ。

■勞働農民黨は共產黨の專制下にあつて、勞働者農民の政黨で無い事は既に明かな所であるが日本勞働黨は、無產大衆の現實的要求に、最も適合したる勞働者農民の理想的政黨である。

■吾等は、日本勞農黨の諸君は勞働農民黨の如く他黨の排擊をすることなく、各無產政黨を一手に抱擁する樣な大襟度を持ち眞の大衆的勞農黨として、無產階級の解放へ驀進されん事を望んで止まない。之れが卽ち、日本勞農黨の眞の職分である。

勞農黨と其の黨首

――曝露した共產黨の策略――

■共產黨直系勞働農民黨は、他黨の排擊と攪亂とを使命としてゐるが、共產黨の策略により黨首杉山氏を辭職せざるを得ざらしめ、後釜として大山郁夫氏を据らせた。矢張共產黨の指命によることは云ふ迄もない。共產黨の方針は大山氏が黨首になると必らず他から攻擊される。そして大山氏の聲明を墜して了ふ。それが一年位かゝる。而して大山氏を利用出來る丈け利用して、用が無くなれば放り出して了ふと云ふ方針である。然るに大山氏は政研以來の同志の友情を裏切り、共產黨の甘言に欺瞞され黨首となつたのであるが若し同氏が放り出された曉には元の同志は勿論、誰も相手にしないだらうから、恐らく逃避するより他に道はないと思ふ。憐れむべきは同氏である。

■大山氏が放り出された後には無產政黨の黨首は勞働者へと云ふ事になつて、勞働者が委員長になるであらう。此れは共產黨の既定方針である。

■吾等は、吾等の此の豫測が今年の末に事實となつて現はれることを斷言する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合聯合の新提唱とその意圖

長尾桃郞

私はレポーターである。事實を誤らずに報導すれば役目は足りる。理論を書くには他に多士濟々である。だから私は今、生の事實――特種の一つを報じやう。但し特種の生命は、眞夏の豆腐よりも果敢ない。果して本誌が約一ヶ月後に讀者諸彦の眼に入る頃まで、特種としての價値を有するや否やに到つては筆者に自信がない。唯僅かに本事件が或は未然に終るかもしれない懸念の絶無でないところに、筆者は發表の勇氣と、興味との些かを繋ぐものである。何故なら、若し、未然に終るとすれば、それこそ昭和新春、關西勞働運動史上の隱れたる一挿話としての價値を留め、從つて勞働運動側面史上の一題材ともなり得る可能性が潜むが故である。

一、

大阪に於て總同盟からの分裂に先鞭をつけ、總、評二團體の對立に至るまで、非總同盟系團體として可成永い歴史を有し、而して總評兩系が白熱的抗爭に終始した大正十五年度に在つては、この拮抗圏外に超然として褒貶を外に、ともかく民衆の糾合に努めつゝあつた日本勞働組合聯合（後藤田正毅氏の率ひる團體）が、今春、全國各勞働團體に對し、一つの警告を發しやうとの意圖を抱藏してゐる事實がある。

その意圖は――無産政黨問題擡頭以來、各勞働團體が全く經濟行動を沒却したものゝやうに、政治行動に溺惑し、徒らに理論的抗爭に淫墮した結果、混亂に混亂のあげく、兎も角、左、右、中間の三政黨鼎立狀態となつて稍小康を得てゐるかの如き現狀となつたが、この小康は見樣によつては、一種の行詰りが生んだ停足狀態とも見受けられる半面を備へてゐないでもない。その際に當つて組合は組合運動本來の使命たる經濟運動を第一義とすべく、政治行動は之を第二義的地位に置くべきであるとして、各勞働團體に呼びかけようとするところにある模樣、謂はゞ往年總同盟がサンヂカリズムを信奉するに勇敢であつた折柄、棚橋小虎氏（現日本勞働組合同盟執行委員長）が、「改造」誌上で「組合主義に還れ」と咆哮した亞流を踏まうといふにあるらしい。

判り切つた理論を殊更に叫ばねばならぬところに、現時我國勞働運動の不健全な足どりの一面を看取し得ると等しく、そこに亦後藤田氏の稚氣愛すべきところを掬み得る。

それは別として、その警告達成の一手段としては、近く大阪勞働組合會議の復活を提唱し、ひいては全國各地に於ける組合會議の組成を慫慂し、更に全國勞農總聯合の蒔直しの前提たらしめやうとの底意と窺はれる。

この推察を導くためには、逆つて大阪勞働組合會議が自然消滅した經緯に一瞥を拂ふ要があらう。

二、大阪組合會議消滅の原因

自らの提唱にかゝる全國勞農總聯合が、十五年六月二十日大阪にて挫折するや、創立以來相當苦難の道程を過程した大阪勞働組合會議は、之を動因として遂に消滅して了つたが、その消滅の原因となつた總聯合の提議は、實に日本勞働組合聯合の提議だつたのである。力の集中といふ共通の原則を何れの組合もが之を承認し、且つその指示する使命に不忠實であつてはならぬ事を知悉し乍ら、主流團體の沈默するまゝに之を拔んで、却つて特殊の立場にあつた組合總聯合によりその發案が爲された謂はゞ負ふた兒に道を敎へられた奇觀こそは、全く當年に於ける總、評二團體共にその提案者たるべく不適當な地位にあつたためでもあるが、之も二團體抗爭の一餘波が生んだ現象であつた。

評議會がこの組合聯合の提議を北叟笑んで迎へたのは言ふまでもない。だがしかし、當時分裂後日淺く、關西に於ける總評二團體の對立は反感そのものに

燃え事毎に末梢神經的反撃の態度に出であつてゐた頃はひだつたから、評議會と席を伍するだけでも不快とし兼ねない潔癖の所有者、總同盟を、如何にしてこの計畫に誘引すべきかに就き評議會は心を碎いたに違ひあるまい。殊に當時は尙所謂「進出」の前にあつて寧ろ消極的自重の域を彷徨してゐた評議會だつたからである。だから評議會はこの提案の成果をより全からしめるためには、從來から總同盟と水魚の間柄にあつた官業勞働向上會を抱擁し、對敵總同盟との緩衝地帶とすることによつて、總同盟を牽制する搦手策の妥當なることを考へた。同組合會議の書記として官業向上會の一員を與へたのも、恐らく這般の肚裏に、原因の幾部分を持つてゐたことは事實と見て然るべきであらう。

一方總同盟は組合會議の發祥的會議だつた失業對策協議會「大正十四年十一月創設」が評議會の提唱、策動によつて生れたものであつたゞけに、後輩に名を成さしめた不快も交つてか、組合會議の成立其自身に對してすら、極めて冷膽な態度に終始し、會議の性質上反對の口實が見當らないまゝに追從したに過ぎないやうにさへ見られた。

全國勞農總聯合の提案は、假令、組合聯合からなされたにもせよ、それを以て評議會の腹案であり、凡らくは戰術の一端であると觀じた總同盟が、この計畫に素より好意を寄すべき筈は有り得なかつた。果然、三月十一日（十五年）この提案が組合會議の議題となつた折も、總同盟はつむじを曲げて贊否の態度を保留した。そのあげくにともかく開かれたのが六月二十日の大阪會議であつた。

當日自由組合聯合の參加したことは、內實提唱者(組合會議)側にとつて豫期違ひの一つであつた。この會議に際し提唱者側は總聯合結成を豫想し、規約綱領等の草案を以つて臨んでゐた。しかし提唱者自ら之を會議劈頭に諮るの不遜を避けるべく他團體から腹案を提出せしめ、之と「草案」とを接近妥協させることによつて、一つの成案を得る手順であつた。この手筈によつて議長阪本孝三郎君は議事を進めやうとしたが、忽ちにして會議前に各代表の忌憚なき意見の開陳を求めて止まぬ總同盟の希望によつて、最初の暗礁に乘りあげ、更に小委員會說を固守する評議會案によつて議場は論爭場裡と化し、遂には組合會議內部の不統一を曝露したに留まらず、こゝに口實を求められ、總同盟西尾末廣君の早尙論の一擊の下に、實質的に意義あるべき筈の會議が全く流れて了つたことは、尙讀者の記憶に新しい筈である。

だがこの會議に於て緩衝地帶となりつゝ、豫定の筋書を遵奉すると考へられてゐた向上會が過去の關係に禍され、總同盟と款を通じてか、關東側の態度に和し、會議成立に對して保留の態度に出で、遂に組合會議の內質に關して散々の醜狀を晒すに至つたことに就き、提唱者側各團體はいたく感情を害した。その爲か向上會辻井書記の辭任となり、その飛沫を喰つて、組合會議は事實上向上會から事務所の撤拒を蜿曲に迫られたのであつた。その後、

一、適當の後任者、及び事務所を得難く、

二、政黨問題の紛糾化は各組合をして等しく他の問題に關して對外的に働く餘力を奪ひ、

三、殊に政黨問題に絡む左右兩翼の白熱的抗爭は、到底左右兩者を含む協議機關設置の不可能なる狀態に導いた、

等の事情のため、この會議を末期として、大阪組合會議は花火線香の如く、消失したのであつた。

三、新提唱者の意圖

既に左右兩翼ともその色彩を明確にし、到底兩者を含む團體協議機關設置が絕望視されつゝある、現在、日本勞働組合聯合が、殊更にその特殊の、從つて左右何れの團體にもさまでさし觸りのない立場を利用して、再び茲に大阪勞働組合會議の復活を提唱せんとする意圖に就いては、その眞意が奈邊に在るのか、一見不可解とも觀ぜられぬでもない。だが、更に考察の斧を深めるならば、一、前組合會議に對して氣乘薄であつた總同盟大阪聯合會（西

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

尾君に統率される）とても、日本勞働組合同盟との分裂直後のことゝて、その創痍淺からぬ折柄であれば、前會議に對し終始した如き冷淡、且つ嬌慢の態度（例へば上記の如く、或は純向上會の加入を異向から絕體に反對した如き）には出兼ねるのであらうと豫側する、時間の推移が齎した組合勢情の變化。

二、官業勞働も政治行動では一貫統一した態度に出られない破目にあり、殊に總同盟を主體とする社會民衆黨にも接近出來難い立場にある現在の弱身は、以前の如く他團體の不快を購ふてまで總同盟とは緊密なる連衡の下に步調破壞の助手たり得ないであらうとの豫測。

三、主旨に於て何れの團體とても反對すべき理由のないこの提唱を、假令、從來の經緯に囚はれて拒み得るものがありとすれば、總同盟大阪聯合會と向上會あたりであらうが、その二團體さへが上述の如き立場であるとすれば、少くも之を拒否はしない。總同盟のみが評議會の參加を肯んじないとしても、それは却つて共同戰線の裏切者といふ逆宣傳の材料を、自ら好んで提供する破目になる。從つて不承ながら進まぬ足をでも運ぶであらうとする豫測。

之等の豫測から出發する一方、政治行動に就ては、之を第二義的に看做し、主として經濟行動上に於ける組合合從機關たらしめやうとする組合聯合の態度は、この提案成立のための一種の安全辦でもあり得るわけで、組合がその根本意義たる經濟運動に關する限りに於てすら、共同協議をなし得ない程狹量であることは、目醒めた大衆、乃至所屬會員が默許しないであらうことゝするところに新提案者も樂觀を置いてゐるやうである。だが、この提案の裏を窺へば、組合聯合の裏面には二三團體の策動があると斷じても不可ない事情もあると等しく、組合聯合の過去の立場に想到するとき、此計畫は單に總同盟をヂレンマに陷れることによつて永年の積憤をそこに晴らさうとする目論見とも見受られる可能があるが、更に目前に迫つてゐる勞働代表選出問題に就て．關西側各組合が態度を一にし、以つて總同盟に當らうとする下準備とも察せられないでもない。

遮莫、勞働運動の過去の道程に顧み、かくあるべくしてあり得なかつた多くの障壁の跡を辿るならば、勞働運動が人間を中心とした運動であるといふことを如實に敎へられる上、果してこの提案が各團體に歡迎されて提案者、並にその裏に存在する團體の豫期するが如き收果、乃至芝居が見られるや否やは、蓋し新春劈頭、關西勞働界に於ける見物であらう。

—（一月八日）—

勞働組合主義の展開！進出!!

佐藤護郎

一

山川均氏に依れば「大正十年十一月にいたつて、日本の無產者運動は、いちじるしく『政治的の方向を取つて來た』……」として山川氏に依れば、「この新しい『政治への傾向』の全體としての發展が、すなはち單一無產政黨であつたことである。

二

そこで問題は三つの質問に分れる。

一、「いちじるしく、政治的方向を取つて來た」傾向は、社會運動への無產者階級乃至は勞働者階級の全面的方向を決した現象であつたか、

二、として、その所謂「政治への傾向」が、大正十年十一年以來、現在迄の日本の社會運動に如何なる決定的內容を以つて進展して來たか、更に進展しつゝあるか、

三、大正十年十一年が「いちじるしく政治的方向を取つて來た」ことは何を以つて實證し得るか、

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

三

不幸にして、三の質問に對しては「政治への方向」は何を辨證したかゞ明確でない。

私は先づ大正十年十一年に於ける日本の社會運動は如何なる情勢をとつて進みあつたかを調査する。

山川氏が及び一派共産黨が極力支持應援をなしたる當時の勞働總同盟が、大正十一年九月三十日大阪に開かれたる「日本勞働組合總聯合」の分裂と共に大會にて發表した決議文は左の如きである。

決議文

一、本大會は東京及び大阪に於ける勞働組合同盟會及び之れに共鳴する諸組合の奉する自由聯合論は勞働階級の戰闘力を分散せしむるものあるを以つて本總同盟の主張たる戰闘力集中の原則と根本的に相容れざるものと認む、

二、本大會は本總同盟があくまで戰闘力集中の原則を固持することを宣明す、しかして本總同盟は以上の諸組合が本總同盟の主張に合致し來らざる以上斷じて總聯合組織の交渉をなさず右決議す。

「本總同盟の主張」とは決議文の一項に屬する當時の合同論で、單なる組織上の問題である。

この分裂は大正十一年末期であり、所謂山川氏の「政治への傾向」の最頂上期である。併るにこの分裂の傾向の中には、山川氏の唱ふる傾向は發見出來得ない。されば山川氏は何を以つて「政治への傾向」としたるか分裂した時が「政治への傾向」であつたか、とする山川氏の辨證論が、その點が明確でない。

同時に十一年度總同盟大會の宣言を引用して却つて「勞働組合主義」の傾向にあつた時を實證して置く。

「我等は、勿論、組合幹部の專制獨裁は斷乎として排斥する然しながら、組合最大の使命が堅牢なる資本主義の牙城を屠ることにあることを思へば……」

四

二、の質問、

大正十一年總聯合分裂以來大正十二年九月一日の大震災迄の一期を分解してみれば、所謂いちじるしい「政治への傾向」はなく、大杉氏の無政府主義的サンヂカリズムと、山川氏、堺氏の共産主義の戰ひの時代であつた。此外表面的に表はれた社會運動の傾向はない。しかも無政府主義の勢力に壓倒されて共産黨は手足を延ばせなかつた事も事實、たゞこの間の「政治への傾向」といふ辨證方法に就いて語るものは、無産者同盟と稱する無實なる團體が、過激社會運動取締法案に反對した傾向があつた事だけ、しかもその決議として

一、勞働組合及び勞働組合運動の無條件公認以外、苟も勞働階級の戰闘機關としての組合の形態と行動とに干渉する一切の立法に對して徹底的に反對する。

とある。これは却つてこの期間の、勞働組合主義の傾向を辨證する參考文ではあるまいか、それ以外の「政治への傾向」は發見出來ない。

* * *

組合主義は、無政府主義、共産主義の表面的戰ひに對して、潜行して堅實に實際にその樹立の過程にあつた事は云ふまでもない。

* * *

大震災以來の傾向、組合主義はこの時代よりいよ〳〵樹立の堅實期に入つた。

* * *

共産主義は幾度かの方向轉換をやつて右傾し、左傾し、漸やく社會運動の一隅に餘命を保つて來た。

* * *

最近に至つて、福本和夫氏の辨證論左翼の全線的展開と進出――が、十一月雜誌マルキシズムに發表せられて、漸やく一月今や左翼の全線的崩壞――農民組合の分裂、建設者の分解的傾向、マルクスズムの旗の下にと山川氏の折衷主義との闘ひ等々々――

五

「一」の質問はかく實證し來つた事に依つて、社會運動として「政治的への傾向」は、共産黨の思惑であつた事が明かになつた。

六

昭和二年度の、社會運動の傾向は「勞働組合主義」の全面的展開を――進出に依つて彩られることを想ふ。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働組合運動の新傾向を論ず

望月源治

第二の分裂を迎へたる總同盟

日本に於ける勞働組合の指導的權威を持して永く其の地位にありしものは總同盟であつた。大正十四年五月十六日現在の組合評議會（二十三組合）を除名するに及び、一般世評は明かに總同盟の地位の沒落を認めた。

特に山川均氏は此の形勢を論じて、總同盟の全勞働組合の抱擁力の衰滅、從つて總同盟は極右翼化の過程をたどるに相違なきことを極論された、爾來日を經ること一年半、今や總同盟は第二次分裂をなし、其の組合員數は僅かに次の如く小數となり其の地域的産業的勢力は見る影もなき狀態になつた。

日本勞働總同盟の實勢力

組合別

――東京方面――	
東京鐵工組合	一、五〇〇人
出版印刷勞働組合	七〇人
日本縫工組合	四二三人
東京革工組合	七〇〇人
中央合同勞働組合	二三〇人
關東醸造勞働組合	二、五〇〇人
遞友同志會	四〇〇人
計	五、八二三人

（註）
A 東京革工組合は2/3は分離せる組合同盟參加を決定してゐるので、東京方面の實勢力は五二〇〇人弱と見るべきである。
B 右組合中に、自動車勞働組合は消滅し、郡山、桐生は脫退、信州交通は消滅の故に削除す。

――關東地方――	
秋田製材勞働組合	一五〇人
埼玉勞働組合	五四人
八王子勞働組合	四〇人
岩手合同勞働組合	七〇人
計	三一四人
――神奈川地方――	
神奈川鐵工組合	一、三〇〇人
石油勞働組合	三五〇人
セメント勞働組合	六五〇人
東京電氣從業員組合	二五〇人
橫須賀勞働組合	六五人
計	二、六一五人
關東合計	八、七五二人
――大阪地方――	
大阪合同勞働組合	四五〇人
大阪金屬勞働組合	二、九〇〇人
大阪電線工組合	六五〇人
大阪印刷出版勞働組合	一〇〇人
大阪紡織勞働組合	一五〇人
計	四、二五〇人
――兵庫――	
尼ヶ崎金屬勞働組合	九〇〇人
灘製樽工組合	三〇〇人
計	一、二〇〇人

（註）尼金屬は久保田鐵工所であるが、之は近く脫退の運命にある。

――中國及四國――	
因島勞働組合	一五〇人
玉造船勞働組合	八〇人
計	二三〇人
――關西地方――	
和歌山製函製材勞働組合	一五〇人
德島勞働組合	二〇人
計	一七〇人
關西合計	五、八五〇人
――獨立組合――	
製鋼勞働組合	一、五五〇人

總同盟全組合員數

一萬六千百四十二人

（註）として一應書入れてあるが、總同盟現在の實勢力數字表は以上が最高頂の勢力である。之は現在の安定狀態を示してあるので、今後續々として脫退せんとする形勢にあることを念頭に置く場合は、實に秋風落漠の感なき能はず、嘗て鈴木氏揚言せる如く「總同盟五萬を得るを得ば」の理想は日月を追ふ每に遠くはなれ去つて行く。

（今後脫退する危險性としては尼ヶ崎金屬の九〇〇人、東京革工の五〇〇人、東鐵の數百人、醸造の一部等である。）

更に地域的に配分し來たれば東京は僅かに二千四、五百人、神奈川が製綱を入れて三千三百人位、大阪が四千人、にして昔日の面影は殆どないのである。

僅か一年有半の中に斯くも沒落し終れるは其處に大きな缺陷の潜伏し居るを、誰もが認むる處であらう。

私は今此處に之れ以上總同盟の問題を取扱ふ時間を有しないが次の個條書を以つて其結論とする。

A、總同盟は評議會を除名するまでは、數的、地域的、産業的に稍々抱擁的であつた。（故に當時の總同盟組織改革案に從つて一大方策を立つることを得たならば壓倒的に一大中心勢力を確立せしなり。）

B、評議會分裂後の總同盟は

四團の關係等も加り、大體に正義派の指導下にあつた之れ其後の分裂を喰止め、政治的一致を見せ、闘爭力の協力を見せて來た理由である。外見的に總同盟發展が認められたる内實である。

C、評議會と分裂してからの總同盟内部の發展性は現在の殘存總同盟に非ず、脱退せる組合同盟の組合である之を以つて見て、明かに評議會分裂後の總同盟の内容が判明するであらう。

D、第二次分裂は、又一方に日本勞働組合同盟を造り、總同盟との對抗勢力を增したこと然も今後發展性ある産業別的勢力は次の表の如き對立になつたことは愈々總同盟の沒落崩壞の急速なるを知る。

■總同盟の産業別的勢力

A、金屬産業　七、四八〇人
B、釀造産業　二、八〇〇人
　　（强いて言へば）
　其他

■日本勞働組合同盟の産業別的勢力

A、鑛山　五、九九〇人
B、紡織産業　八、四〇〇人
C、外に地方合同としての强力な組合一つ
之は産業別組合組織内へ參加出來る要素を基礎としてある。即ち

關東合働　二、八〇〇人
九州聯合會　七〇〇人
兵庫聯合會　二、一〇〇人
其他（内金屬産業組織可能を含む）

以上の産業別的整列を更に全般的に配列する場合は次の如くなり、從つて總同盟の日本に於ける實際勢力は地域的にも、産業別的にも數的にも、殆ど其の實力を失つたと見るべきである

交通産業　（獨立團體）
鑛山産業　（組合同盟）
海　員　（獨立團體）
農　民　（獨立團體）
紡織産業　（組合同盟）
金屬産業　（總同盟、組合同盟 評議會、總聯合、其他、の混合團體）
出版産業　（評議會、自由聯合、總同盟少し）
木材産業　（評議會、及獨立團體）

組合同盟脱退理由

我が組合同盟が、總同盟より脱退せる理由は、無産政黨組織に當つての、階級的指導精神の相違に存する。即ち總同盟が、總同盟大會又は其他の重要なる機關に於て一度も論戰せられざる、方針に基づき、遂に非階級政黨たる社會民衆黨を組織するに至つたこと、並に總同盟の從來の政治方針たる農民との結合を主とした階級政黨樹立の方針の下に組織されたる日本勞農黨組織に參加したるの故を以つて個人除名をなしたるに存し、之を換言すれば、所謂總同盟の現實主義の大綱中の左翼との戰ひを廻避し、無理矢理に、極右翼化し、少數幹部の專橫と、私慾的關係の存續を確立せんとし從つて總同盟に依つては到底日本の現實闘爭に依りて、階級的結成と正當なる發達を計るの不可能なるに至つた、ことに存するのである。

故に我が組合同盟の脱退は總同盟を復活せしめんとするの希望から脱却せしことを意味し從つて總同盟の階級的立場の完全なる失墜を意味する。

勞働總聯合結成の可能性

日本の最近勞働組合の内情は分裂に分裂を以つてし、内訌に次に内訌を以つてし、到る處、險惡なる混亂狀態を捲き起し、幾多の波亂曲折をなしたにも拘らず、我等は之を悲むものではない。徒らに内訌、分裂の同一階級内の紛爭を喜とするものではないが、必要なりし紛爭を止むなき分裂に眼を掩ふは寧ろ卑怯な態度である。

我々は今日までの徒勞に似たる紛爭を積極的に解剖し而して今後の我が戰列の完成に向はしめねばならぬ。

見よ日本現在の勞働組合の現狀を、其の地域的、産業的の配分狀態を。

大正十一年九月三十日大阪に於て開かれたる全國勞働組合總聯合は、自由聯合、合同、兩意見の疎隔から遂に大破綻をなし爾來全國的結合は成立するの不可能なる狀態のまゝに今日に至つた。

其の不可能の根本的理由は、勿論思想上の不一致にもよるが私の見る處ろに依れば、或る一個の團體帝國主義の存在が、此の成立を不可能ならしめたるを確信する。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

日本勞働總同盟の存在即ち之であつた。然らば評議會分裂後の形勢は少なくとも此の帝國主義的可能性を減退せしに（山川氏の腹案は評議會分裂と同時に帝國主義的存在消滅を認め從つて總聯合即時成立の可能を立論せられたと思ふが）何故に總聯合は結成せられたるか、私は之れを更に一個の帝國主義の存在に見出す。即ち評議會の存在之れである。

評議會の其後の狀態は、恰も總同盟を逆にせる如きものであつて、總同盟が經濟的鬪爭を理由にして、極右翼化の方向をたどるに反し、評議會は、政治鬪爭への轉向を主張して極左翼の方向に走つた。評議會は最初の目標たる產業別合同の提唱は、全く一個の自己利便の道具となし、今は既に忘れたるが如き有樣にして、評議會を擧げて、政治上の指導方針に關する發言の機關にしてしまつた。此の組合運動の必要なる日常鬪爭上の組織機關を忘却せる態度、其の整理に邁進するの態度の失はれたるは、明かに今日の評議會の重きをなさぬ一大缺陷を生むに至つたものであつて、今は只政治的發言をなす一個の機關になり下つたのである。之れ私が言ふ總同盟とは別の帝國主義的存在になり、此處に山川氏の腹案たりし、總同盟帝國主義破れて、全國總聯合、產業別整理の必然は評議會によりて爲されずに、寧ろ、評議會の分裂、內訌政策によりて益々評議會は、總同盟と共に其の陰影を沒しつゝあるの所以である。

今や總同盟、評議會共に左右兩翼の極端なる方向に走り共に大衆の支持を失つて、徒らに大衆結合の便をさまたぐるの團體となつた。もし今後勞農總聯合が結成せらるとせば、以上二つの帝國主義團體は、僅かなる數を大切に把握せしまゝに、此の大衆結合の外に淋しい月日を送ることであろう。

日本勞農總聯合は今や結成の前夜にある。

錯裂熱風

青年の熱意の暴風は
時代の國賊の
清潔法を執行した
勞働は大地を穿ち
インヂンを廻し
人間を消耗する
全世界のブルジョアが
新思想の颶風に戦いた
××の錯裂だ
世紀は暗黒の泥濘に陷沒し
おゝ血管に漲れるプロの血は
×××雄叫び××××

街頭に轟く××の歌
嚴肅なるデモンストレーション
彈壓の嵐迫害のうなり
怒濤！吶喊！錯裂！
混亂の修羅場だ
ブルジョアは畏怖した
新興プロレタリアは
平和の創造だ
密林の彼方から
黎明が響き初めた
偉大なる大衆の行進曲だ

―土屋哲三―

然も總同盟評議會の兩極端を放棄して、優に八つの大產業別組織の上に結合されるのである我々は今日の現實を熟視して、我が勞農階級の經濟的結合の必要性を切實に要望する。

資本の攻擊は深刻化し政治的鬪爭の新場面は限りなく轉廻し來り、徒らに群雄割據の狀態に我が陣營を放任するは、實に無產階級の歷史的使命を冒瀆するの甚だしきを知る。

左右兩翼の狂激なる鬪爭は彼等に一任せよ、我々は產業別的大組合實現と、日本勞農總聯合の完成とに邁進せねばならぬ。

附錄

總同盟より脫退せる日本勞働組合同盟の數的勢力

組合同盟の組織方針（產業別的大組合主義を基礎とす）

日本鑛夫組合	三、九五〇人
關東紡織勞働組合	八、四八〇人
關東合同勞働組合	三、八〇〇人
兵庫縣聯合會	三、一〇〇人
九州聯合會	七〇〇人
織工脫退組	八〇人
計	二〇、一五〇人

日本勞働組合同盟
事務所　芝公園五號四番地
電話　青山一一五一番

共産主義運動の「日本的意義」

澤井龍之助

はしがき

僕は曩に『社會運動の根本觀念』なる標題に於て所謂『日本社會運動』の反駁文を書いたが之れに對して僕の日本考を述べて見たいと考へてゐた。近來頻りに『日本』『東洋』『亞細亞』なる熟語を發見するにつけても、是れに對する腹藏なき考察を加へたいと思つて再び蕪文をも顧みず筆を取る事にした。然し乍ら是は以前の本旨とは少しく――或は大方――變つてゐるかも知れぬ。即ち、僕の精神は所謂『日本主義』及是れに附隨する所の『日本社會運動』を排擊するのであつて、眞正の日本に立脚したる社會運動を排擊するのではない此の事は豫め斷つて置かねばならぬ。

一

社會運動はそれの精神に於て飽迄、インターナショナリズムに立脚せねばならぬ事は曩に述べた如くである。然し乍ら、こゝに近視眼の人に對して眼鏡を調製するに當つては豫じめ、その人の度を査べて始めて、それに適ふ度を以つて調製せねばならぬ如く、社會運動の方法にも此の當然の方法を行ふ事は至當の事であらねばならない。例へばロシアに於ては突變的手段で以つて革命を斷行したから英國に於ても是非共早く此の方法で行はなければならぬと云ふ等はそれであるが然し、吾々はその方法手段は是とするも丁度、眼鏡を調製する場合の如く、豫め『如何なる』ものを以つてすべきかを査べて置かねばならない。即ち『事實』を確かめてかゝらねばならないのである。

最近、頻りに唱へらるゝ所の『日本主義』及『日本社會運動』は畢竟これに據つて起つて來たものと見做すべきであらう。とは云へ、彼等の理論及行動を觀るに其の間に反動的精神の少なからず潜んでゐる事は遺憾である。何故ならば彼等はインターナショナリズムの精神より、漸次『日本』と云ふ特殊な國家觀念を帶びて來たからである。即ちそれは國際的精神より國家的精神の移動であり。從つて遂にはインターナショナリズムの拋棄となり、固牢なる國家主義に移るべきは火を睹るよりも瞭かである。而もそれはインターナショナリズムに基礎を置いた所の方法上の日本主義ではなくて從來の支配階級的資本家的『日本主義』國家主義に外ならないのである。

二

反之してマルキシズムの本流を以つて自任する所の共産主義者の間には、マルキシズムと云ふ一つの原則若しくは公式を持つて來て直に日本と云ふ或る近視眼者に當て篏めやうとする。彼等は日本と云ふ事實現象を査べて見やうとしないのである。兎に角、マルクスは斯う云つたから、レーニンの書には斯く斯く云ふ事が載つてゐたから是非共然らしめなければならぬと云ふのだ。

マルクスは共産主義の理論を構成する前に先づ資本主義が何者であるかを檢討した。即ち十八世紀後半の資本主義醞釀期に於ける社會のからくりと其の推移に眼を向けたのである。そして資本主義生産樣式の解剖と其の發展――飛躍――推移の諸相を科學的に檢覈し、それに據つて共産社會の自由の王國へ入込むのである事を觀た。而もそれは資本主義制度に潜む矛盾と鬪爭により必然の勢力に據つて其の過程を過程しつゝあるものであるとしたのである。即ちマルクスにあつてはマルクス自身の理論が先行して出來上つたものではなく、先づ社會の現實を觀察し、檢覈し解剖してから完成したものである。而してそれは或る特定國だけの觀察ではなしに資本主義社會の一般性を論じたものである。且又それは資本主義社會其のものゝ批判であり、

解剖であつて傳說、歷史、風土慣性、人情及生活樣式の異なつた特定國—或は各國—に據つて其の狀態—即ち社會の現實又は社會進化の過程—に變化を來す事は當然の成行でなければならない。要するにマルクスに於ては理論は從であり、『事實』(現實)が主であつたのだ。

然るに日本に於けるマルキシストの間には是と逆の見方で以つて、事實より理論を無理矢理に押し嵌めやうと焦つて居る者がある。彼等にあつては日本と云ふ社會事實は如何でもいゝのである。兎に角マルクスは斯う云つたから、レーニンはあゝ仰つたから斯うしなければならぬと云ふのだ。それが假令、或る特定國のそれであつてもそうしなければならぬと云ふ。而してそれに反對する者は誰であらうが—社會主義者であらうが—反動になるのだ。『論語讀の論語知らず』と云ふ諺があるが彼等はその方らしい。マルクスを讀んでマルクスの精神が讀めないのは彼等の事を云のであらう。

三

『抑々左傾家の極端な者は日本を一個の白紙的な文化實現の素材だと考へて居る。そこで彼等は彼等が西洋から學び來つた色々の社會的機制を之の日本と云ふ白紙的材料の上に無遠慮に實現せんとする。』(古谷榮一氏「左傾右傾の日本的意義を掴め」雜誌「原始」十二月號所載)

洵に日本の或る一部のマルキシストと自稱する一派には此の如き輩が無い樣でもない、彼等は眞の日本を理解し得ない。即ち日本的と云へば直に反動的と曲解し、甚だしきに至つては昨日迄、同志として共同戰線に起てるものをも中傷讒誣して憚からないのである。

然し乍ら、彼等は果して眞底から日本の民衆を愛してゐるであらうか何うか。そこで『彼等の民衆愛を實現する方法や理想が民衆愛のみでなくて、それが西洋偏癖、西洋的道樂の手段でもあるかの如き感じを與へる。彼等は民衆を救ふよりも彼等の兩洋的性格を滿足させやうとする。或は物質的精神的に西洋の背景や西洋的な力で民衆を解放させやうとする。』のである。

『かくて日本に於ける一切のもの、民衆解放には何等關係のない一切のものを只連想的に嫌惡して之れを破壞しやうとするのである。而して彼等は『何等必然的でない處の敵を作つてはその敵と惡戰し乍ら戰かつて行かうとするものである。』(前揭誌、七、八頁參照)

四

そこで、彼等にあつては全く日本の民衆なんてものは眼中になさそうである。只もうマルキシズム一點張で理論と公式より割り出して日本の民衆を形に當嵌めやうとするのだ。丁度それは度の違つた眼鏡をかけさす樣に否、形ではなく、全く無理矢理に、唯物史觀的公式の藥籠中のものにしやうと焦つてゐるのだ。しかもそれは彼等の常套語であり、唯一の武器である所の唯物的辨證法に據つてゝある。然し乍ら彼等の辨證法たるや、現實の何者かをも洞察せず徒らに辨證法的屁理窟を並べて獨りマルクス辨證法ならぬマスターベーションを行つて居るに過ぎない。

日本の歷史と其の政治的、經濟的推移を理解する者は彼等の如き憑かれた知識は振り廻さないであらう。兎もあれ、彼等にあつては『日本と云ふ大きな事實の自覺』に迄到達し得ないのは殘念である。

日本は今や一方には右傾的社會運動を實行しつゝあるものあり、又徒らにロシア流の共產主義運動を以つて直に『日本を一個の白紙的な素材だと考へて居る』者もある。更に又他方に於ては所謂『日本主義』に立籠つて純『日本的社會運動』を行はんとしつゝある者もある。かくて日本の思想界は、蜂の巢をツツイタ如く其指導精神に於て全く大混亂に陷入らんとしつゝあるのだ。

吾々は敢てこゝにインターナショナリストである事を再び斷言する。吾々は『日本主義』に據つて『日本擁護運動』『東洋保全運動』を行はんとする一派を戒め度い。それは延いては『亞細亞主義』となり從つて既成ブルジョアジー共との野合を招來するものでなければならない。『日本』を愛する事に據つ

て全世界の人類、兄弟達を忘れる事は出來ない、且又、吾々は徒らに西洋的昂奮に驅つて『日本』の民衆を忘れ度くはない。亦『西洋カブレ』のした融通の効かないマルキシストも排擠しなければならぬ。彼等こそは大衆を忘れた思想中毒の患者に他ならないのである。而して彼等の叫ぶインターナショナリズムとはロシアより出た合言葉であつて、而かも其の中には多分にロシア臭味のある事は否まれない。而して此のロシアイズムに迎合せない者を指して彼等は反動運動であるとするのだ。(これは强ちロシアから金を貰つて飯を喰つてゐる者ばかりを指して云つてゐるのではない)。

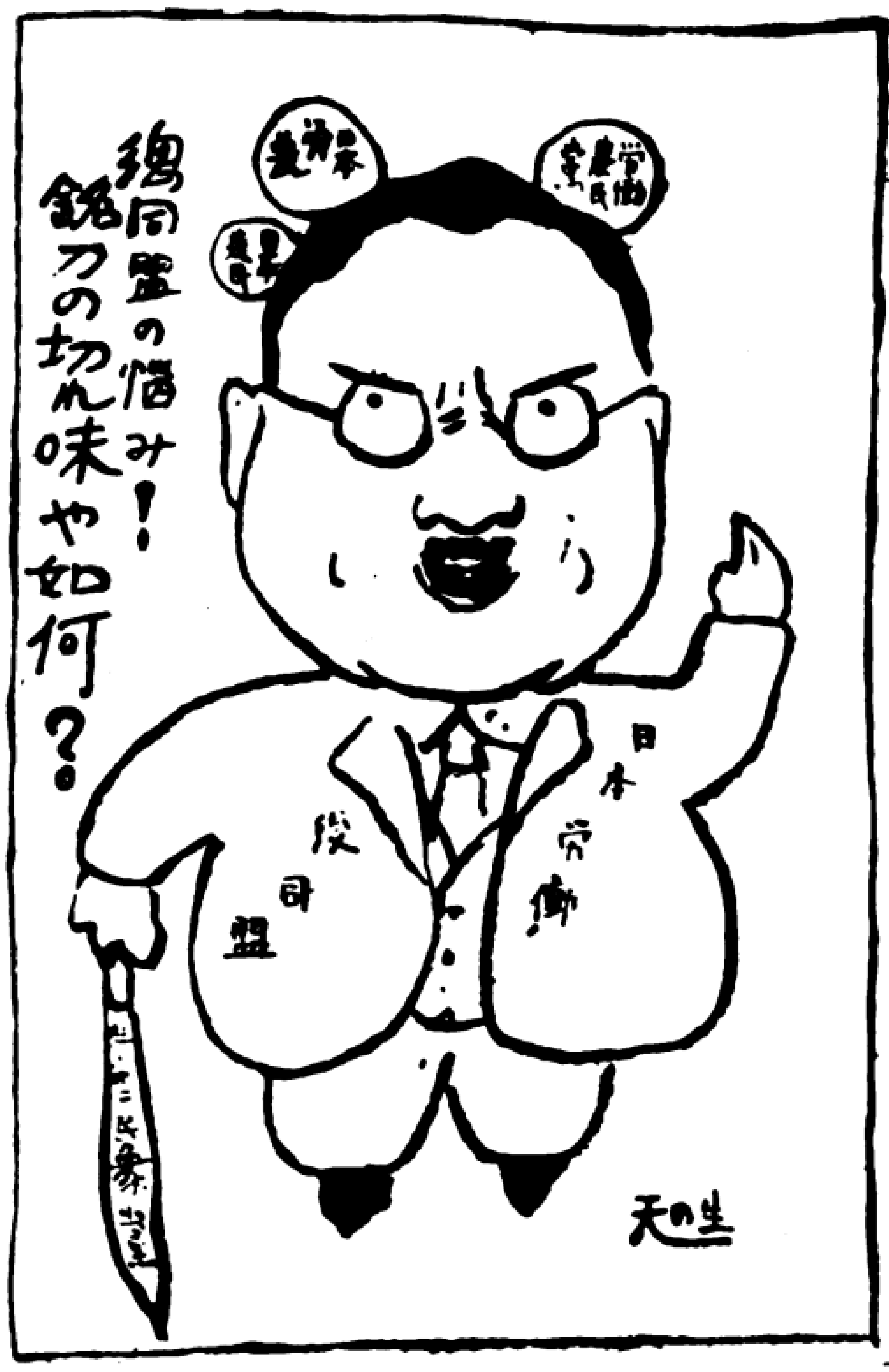
然し乍ら、ロシアに於ける共產主義は只ロシアだけの共產主義であつて—それはマルキシズムの普通性の一部分即ち特殊性とでも呼ばふか—斷じて各國の眞似るべきものではない。就中農村問題等に於ける政策の如きは最も惡むべきものである。卽ちそれは農民あつての農村政策ではなく、農村政策あつての農民の感ありである。權力に眩惑せる彼等の醜體は資本家のそれよりも惡むべきものがある。

五

以上に據つて吾々は『日本』を忘れた共產主義運動の何であるかを見た。彼等の運動には骨が無い。肉が無い。血がない。只腦味噌だけの共產運動を行つてゐるに過ぎない。而もそれが共產主義運動の本流を以つて任じて居るのだ。吾々より見れば甚だしく反日本的で、而も××××の正道を過る反動運動であると考へられるのである。

吾々は×××××××××××××敢てロシアのそればかりを眞似る必要はない。

今や日本の社會運動には極右と極左の對立が際立つて眼に付いて來た。無產政黨に於いても社會民衆黨は右翼を標榜して穩健なる政治運動を行はんとし、又勞働農民黨は極めて直譯的なる議會運動に臨まんとして居る而して此の間、兩者に嫌たらずとして新たに日本勞農黨が眞に無產大衆の意志を理解し、右翼に偏せず極左—直譯的ロシア的西洋的—に片倚らず眞正なる日本の社會的現實、社會進化の過程を洞察して新たに其の旗幟を掲げて誕生した。



吾々は從來の支配階級的ブルジョア的日本主義—國家主義—に反抗して創造的なる自由なる眞の日本に卽したる社會運動の黎明を告げなければならない。

徒にロシア流の直譯的共產主義運動を止めよ。而して眞の日本に卽したる××××××××××××××××。且又、『日本』的なる故を以つて旣成支配階級的及びブルジョア的國家主義に墮せんとしつゝある右翼の態度をも監視せねばならぬ。

吾々は最後に云ふ『日本』を忘れて日本の社會運動はあり得ない。又、世界の同胞を忘れては勞働運動はあり得ないであらう洵に吾々の任務は重且大である吾々は常に日本の社會の現實と過程とそして日本の大衆の意志と感情を洞察し理解して始めて眞正なる日本の××××××××發達し遂に新らしく創造され完成されるものなる事を斷言して憚からないものである。（完）

終りに是れは古谷榮一氏の「左傾右傾の日本的意義」(『原始』十二月號所載)に觸發したものである事を斷つて輕く併せ精讀され度い。

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

最近の感想

質問文の要旨

茲に諸氏百家の感想を集めます。社會運動に關する感想又は短時文等。我が『進め』は一黨一閥の機關でなく全無產階級の戰鬪機關である。故に苟しくも、社會運動に關するものならば何人のものと雖、之れを登載致しますから遠慮なくお送り下さい。

◉ 新居格氏

□一人の知友がしたのを人の思想的立場からはそうあるべきでないと信じてゐた人が、突如として或無產政黨に這入つた。一寸寂しく思つたが、吾等の立場からはその人を拘束する事が出來ない事を知つてゐるので、私は何とも云はずにたゞ寂しく思つた。

□社會運動の各派が內部的整理をするのはいゝが、又しなくてはならぬが、同じ立場のものを理論上の事なら極めて結構だが、他をせめる事が急で、自分に俊嚴でない行き方が往々あるのを見て憂鬱に感じます。

□社會運動が雷同的な[illegible]で動くのを見るのにいやだ。又個人的勢力の消耗が氣になつてゐるのではないかと思はれることにもいやな點があり、模倣性、福本君が同君一流の文章を書くと之れを模擬する連中の多いのも妙な感じがする。

——一月二日——

◉ 島上善五郎氏

□『進め』が全無產階級の戰鬪誌たりとの意氣は誠に結構だ。現今、猶も杓子も「全無產階級云々」潛稱が流行する折、營業政策的な乃至は誇大妄想的な「意氣」に墮せざらんことを切望する。お仰せに從つて最近の感想を二三簡單に述べることにする。

□最近支配階級が急激に反動化しつゝあることは爭ふべからざる事實である。（一面鼻糞程の社會政策を施してゐることも事實だが）

それと同時に無產階級陣營內に派遣された支配階級の代理人も又急速に、露骨にその本性をあらはして反動化して來た。かくして無產階級陣營內に猛烈なる對立鬪爭が開始された。この對立鬪爭は必然であり、不可避であり、この鬪爭を鬪爭することによつてのみ無產階級の陣營は擴大され、目的意識的鬪爭——歷史的使命遂行の鬪爭へと進出し得る。

□然るに最近「平和」な氣持で支配階級と鬪爭せんとする一派が、この對立鬪爭の本質、歷史的意義を理解し得ずして、左も右も共に小兒病的だ、俺のみが階級的正道だと言ひ出して來た。そして勞農大衆の意識の高まることを阻んで、無產階級運動を永久に狹隘なる組合主義の埒內に止めて置かうと企だてゝゐる。だが今やわが無產階級運動に於いて組合主義はもはや一個の骨董となり終つた。

□無產階級運動は昨年も、又た今年も執拗なる對立鬪爭を繰返すであらふ。否繰返されねばならぬ。支配階級の代理人の假面をヒンむき、完膚なき迄にその正體を大衆の面前に曝露し、これを克服し終へるまで鬪はねばならぬ。現在のわが無產階級はよくこれを爲し遂げ得るであらふ。

——一月十日——

◉ 麻生久氏

昨年は其初頭に於て、勞働農民黨が生れましたが、年末に至つてそれが含む無理が破綻して、日本の無產階級運動はその必然に從つて分離を遂げ、結合すべきものは結合すべき運びに至りました。もとより、今後と雖も又幾度か變遷をくり返へすでせう。併し一と通り分離を遂げそれぞれ結合すべきものが結合する方向が定まりました。今年は此分離と結合の行きがゝりに依つて取り殘された部分が漸次に其必然に從つて分離結合し、整理され、日本無產階級運動にも筋道がはつきりたつて來るでせう。

——一月一日——

◉ 石川準十郎氏

此頃時々「社會運動に於ける野心」と云ふ事を考へて見る。個人的な慾望乃至野心が、どの程度にまで社會運動に影響し得るものであらうか？ 又影響させて宜いものであらうか？ 人間活動の凡てが慾望に基づくものである以上、一種の野心の絶滅は期す可くもない。それは人間に人間の中止を要する樣なものである。だが個人的な慾望乃至野心の勝手な實現は、階級的な乃至社會的な必要と接觸する限り許さる可きでない。それは何等かの社會的作用に依つて、牽制乃至解消されなければならない。かくて私の心の中には矢張り、かの正教マルキシズムが科學的の名の下に排棄した所の倫理感念（觀念に非ず）強調の必要が嚴然として生きる。それはカントに於て「至上命令」の形態で表はれたものであり、クロポトキンに於ては實證的論證を試みられたものであり、從來カント的マルキシズムの強調する所のものであつた。

——一月九日——

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

原信行氏

最近無産者啓蒙運動としての雑誌と云ふことについて考へて見たが其の殆んど全部が喧嘩の機関であるやうに思はれる。唯、一ツ吾々の最も敬服して止まないものがある。それは貴「進め」である。無産者の雑誌は挙げて醜い争ひにのみ没頭してゐる中を勇敢に、無産階級戰鬪雑誌として公平なる嚴正中立的立場を持し邁進してゐる所は實に堂々たるものである。私は左の諸誌は代表的な喧嘩雑誌であると思ふ。

一、無産者新聞
二、大衆
三、民衆新聞
四、無産農民
五、マルクス主義

私は右の諸雑誌をズット見てゐるが、就中、無産者新聞と民衆新聞は喧嘩記事ばかりで餘り醜いから止めました。吾々無産者の頭脳にピッタリと來る良い雑誌は何んと云つても、矢張り「進め」より他にない。進め社同人諸兄！ 愈々健鬪されん事を祈ります。——一月六日——

吉田源藏氏

舊冬中歳末に私の住んで居ります町で例年の通り「同情週間」と云ふのが行はれました。それで校長さんや、婦人會の幹事さんや、扨ては保導委員様と云ふお偉い方々が、貧乏人の家へお餅やら、小遣ひやらを配つて歩いたのです。ところが、大分方々で突き返へされたと云ふ事です。中にはどえらい劍幕で「馬鹿にするない、欲しけりや手前にやら——」と食つて掛つた貧乏人があつたそうです。無産者も目覺めて來ましたね。押賣り好意に對する從來の感謝が敵意に取つて變へらるゝ時代が來たのです。それに未だ彼等は無産者をして、慈善や救濟、憐愍等の目的物にして居るのですから全く可愛想ではありませんか。其の内に彼等の「同情週間」は吾々プロレタリアーのやる「同情週間」になるでせう。現に角眞實の階級意識と云ふやつは、阿片や鬼の涙位では去勢出來ないものと見へます。——一月二日——

金熙明氏

無産政黨が勝利を得、勞働黨が天下を取つた國が世界に於ける最大帝國主義の國家で殖民地問題が解決されないとは云ふまでもなく勞働者自身は愚に迷ふてゐると云ふ政治倫理の一分眞實さは私には疑問である。日本無産政黨それ自身が已に殖民地問題を閑却し、正道に外れた不眞實な態度を取ることは私だけが杞憂する命題だらうか。ブルジョアー國家のプロレタリアの唱へるインタナショナルは嘘ではないが嘘に締結する。弱小民族としての殖民地プロレタリア階級が解放されるまではさうしたインタナショナルを唱へるのは止して呉れ！ プロレタリア階級が眞に帝國主義と鬪ふなら、先づその××××××××××××××!! それ以外に純粋な道を私は知らない。——一月一日——

佐藤護郎氏

年號も改まつて昭和となつたが、而かも早二年目、この年に當つての社會運動は、益々潜行的な陰險な手段で共産黨の進出喰込み運動が流行するであらう。たゞ福本和夫があまり有頂天になり過ぎて失敗し、山川等の方が却つてよくなりはしまいか。文藝運動の上にも變つた論陣を張つて名を賣る人々が數多くなるであらう。——一月四日——

大山時雄氏

朝鮮の社會運動は今政治派、非政治派の論戰で注目されてゐます。東亞日報は元旦の社説に「中國革命の極東に及ぼす政變により日本の對朝鮮統治の必然的局面打開を豫想し、吾人はこれに處する準備を怠つてはならない」と云ふ意味の政治的進展を表明しました。朝鮮共産黨事件が大赦の恩典に浴すれば百二三十名出獄する事になります。メーデー頃までには隨分賑ふ事と思ひます。——一月三日——

友實孫四郎氏

今や吾が解放運動の情勢を一小穴より望見すれば、左右中の三派に分裂して自己階級内部に於て見苦しい鬪爭を續けてゐる。私共として實に遺憾の極みである。その原因はと質問されなば

（一）一部幹部の獨斷的支配下に置かれた無自覺なる民衆の罪。

（二）現幹部は大半インテリゲンチャやブルジョア階級にて、頭の理解者にして腹の底よりの自覺者にあらざる爲めであると思ふ。

故に總て運動が遊戯的である、丁度農民歌を歌ふ價値のない、土を耕さゞる有閑階級の勝手極まる寢言に過ぎない。爲めに初期の運動時代には必要なりし現幹部も「經濟を助けた政治が、今は政治の爲めに、經濟は桎梏されてゐる」様に彼等に依つて私達の運動は害ぜられ、毒せられてゐる。玆に於て全無産階級諸君に一言したいのは、彼等遊戯的幹部の言に乗ぜられず、速に彼等堕落幹部を其組織外へ投出して、完全なる階級鬪爭の本質へ立返らずば我等の眞の運動は到底覺束ないのである。——一月五日——

淺野研眞氏

批判の原理に就ての一斷想——批判は何處迄も猛烈に試みるを要する。但し單に他者をけなして以つて自己獨り潔よしとするなば排する。苟もプロレタリア的批判は、批判であると同時に教訓であらねばならぬ。何事かを貢獻せんとする者に於てのみ、犯さるべき誤謬の可能性があるのだ。徒に「日和見」呼ばゝりしたり、又「小兒病」呼ばゝりする所の獨斷的批判、それこそ水鳥の羽音におびへた「日和見的」乃至は「小兒病的」なものである場合が多い——は吾々の愼しまねばならぬものだ。プロレタリア運動の人的結合は、其處で望まれ得やう。——一月一日——

鈴木栖夫氏

社會民衆黨をブルの御用黨だと勞働農民黨が笑へば、その勞働農民黨を無政府主義者が、無益な政治運動を行ふて無産階級の戰線を亂す者と笑ふ。これを局外者が無政府主義者の立場に立つて見ると、勞農黨が民衆黨を笑ふのは、丁度日勞黨が社民黨を笑ふのと同一である。勞農黨の諸

君は顧みて己れを笑ふ者あるを見て、前方の民衆黨を笑ふのを氣はずかしく思はぬか、人は各々考へがあつて、そのよしとする所に働くものだ。同一無産階級の爲めに働くものだと思はゞ、餘り口きたなく他を罵しらぬものであるまいか。余は勞農黨が餘りに口きたなく他を罵るのを不快に思ふ者だ。——一月六日——

■ 北澤新次郎氏

無産政黨が四つも出來て互に攻擊し合つてゐる事は實に醜惡である。他黨の爲す事は表面に表はれたる丈けでなく、眞意を能く捕へて批判すべきもので、皮相的論擊は控へるべきものであると痛感します。感情をなるべく純化して。

——一月四日——

■ 津田光造氏

最近著しく目につくのは、社會運動の政治運動化と云ふ事である。單一無産政黨と云ふ事が專ら主張されて居たが、事實は群雄割據的政黨が出現するよりどうにも仕方が無い樣な體勢である。斯うなれば、また無産階級解放の陣營内で勢力の爭奪戰が行はれて、ブルジョアー政黨から今迄見せつけられて來た樣なケチな忌はしい内訌を見ない譯には行かぬであらう。——一月二日——

■ 梅田忍氏

凡そ事業の成就するもせざるも人によるのであります。如何に其の事業が有望でも、それに當る人を得なければ到底出來るものではありません。特に社會運動の如きは其人を得なければ成功しません

私は最初に無産者運動に多大の望みを囑してゐたものであります。然るに彼等其の局に當つてゐるものは、大敵を目の前に控へながら、醜い内輪喧嘩ばかりしてゐます。私は近來彼等に殆んど愛想をつかしてゐます。犬猿啻ならざる薩長さへも幕府を倒す爲めには一身同體となりました。要するに今日の無産者を標榜するものゝ中に本當に眞劍に振つて民衆の爲に戰ふ人が少いやうであります。然し社會運動は必ず最後の勝利を得るものであります。私は只其人を得るを望みます。

——一月六日——

■ 今村等氏

新しい新を迎へて新しい社會運動が起るのを切望するものである。大正十五年は吾等にとつては畫時代的であつた總同盟脫退より日本勞働組合同盟の結成、引續き勞農總聯合の組織から、日本勞農黨の結黨と一瀉千里で出來上るまでに曲折を經て來た。然しお互に分れ、お互に集り、そして人間的氣持がピッタリ合ふてこれからが勇敢に進め、進めで進んで行かふ。——一月五日——

■ 水野貝三郎氏

吾が國の勞働運動も經濟運動より政治鬪爭に轉化し、今や新興階級を代表すると自誇し結成なした、左翼、右翼、中間派と稱する、各政黨は已に勝手な熱を吹き廻し、無智なる一般大衆を釣り込み踏臺にし、自己の地位を築き上げんと、全く必死狂狀を呈しつゝある。一般大衆は過日結成せられし諸政黨の何れの政派が眞に我等無産階級の利益と幸福を求むべく闘ふや斷言する事が出來ない。無産階級の解放と紛爭をスローガンとする野心家よ！來るべき普選に堂々と敵と戰ひ、無産階級的大收穫を得よ、然らば大衆は急いで旗下に投ぜん。——一月五日——

■ 岡氏

中部日本農民組合の共産黨一派を除名した事は中部に於ける農民運動史上に特筆すべき事である。然し乍ら未だ完全とは言ひ兼ねる。此の次にはゴミ幹を除名し、然して代議士を夢見て居る幹部を除名する事だと思ふ。斯くなつた時こそ完全なる陣營を立て得らるゝ事と考へられる。又近々共産黨一派の策動によりて農民組合が生れ樣として居る。然し乍ら農民が躍るか否か頗る疑問である。

——一月四日——

■ 小川未明氏

個人によらず、階級によらず、又團體にかまはず、特權を信じ支配せんとする行動に出た時は必ず反抗を覺悟しなければならぬ。社會主義的精神は、即ちこの反抗の精神に外ならぬ、謙譲と良心の伴はない社會主義運動について、私はそれを本物と考へる事が出來ない。眞の社會主義運動はこれからではないか。

——十二月三十一日——

■ 村田信氏

都會の檜舞臺を只々新聞紙上にて知る吾等地方運動に從事する者は、より以上の苦痛に辛捧しなければならぬ。所謂三十年來の因襲は、都會に於ては近代文明と理性の發達の爲めに次第に其影をひそめつゝあるに際して、地方は未だ〳〵長い眠りから覺やうともしない。それに今一つ厄介なのはムッソリニー直輸入の親分、子分連中が都會を追はれて次第々々に地方に出て來て跳梁する事である。此の觀が特に九州地方に著しい。近年僅かの間の生命ではあるが、此等と正氣で爭ふ事も餘り無邪氣である事に氣がつくと苦笑せざるを得ない。

——一月八日——

■ 大和久雄氏

何處迄も苦しめられるものは農民である。眞劍に農民の苦衷を察して吳れる人は少い。小作人は無智であるかも知れんが、純情である農民の解放運動も小作人の啓蒙にあるでせうが、物質文化の惡弊は美しい田園を瓦礫の樣にして終ひました。未だ若い芽生へは農村に萌えてゐません。多くの農村青年はめしいであるのです。農民文藝運動の烽火は大なる使命を負つて居ると思ひます。

——一月一日——

■ 春田勝彦氏

此頃の所謂政治運動には全く愛想がつきた。やれ左翼だ、やれ右翼だ、やれ中間だ、一體何と云ふ醜惡だ。たとへ日本人は感情的に走り易い民族だとは云ふもゝの同じく無産階級を標傍して立つ以上其處に何等の差異もない譯だ。理論はどうでもつく。それが左であらうと、右であらうと、現實に即さない運動は現在の此の日本の社會に於ては用ひられて居ない。それにも拘らず、徒に覺めんとする全無産者をそれ左だ、それ右だ、行くな

來いと騷ぎ立てる。組合員が丁度浮草の様に幹部の水の流れる儘に動いてゐる。

現在の日本にはもつと〳〵啓蒙運動が必要だ。無暗に政治運動に深入したつて御先眞暗では何等の意味もなさない、最後失敗するに決つて居る。現社會に於ては政治運動より先づ無產階級の覺醒運動が必要だ。何も判らない小羊に、毛を刈り取つた上、なほこれをやれ、あれをやれと云つたつてそれは無理な注文だ。無暗に政治運動〳〵と騷ぐ奴は、よく面を冷水で洗つて御一考を願ふ。都會は未だよいが、一歩農村に足を入れて見ればよく判る。全く此頃の政治運動者は盲目で狂人だ。俺は此改年初頭に健全なる完全な、眞の無產階級を知り、眞に無產階級の爲め努力し、指導する人の一人でも多く出る事を望むと同時に、今迄民衆を攪亂した狂人共の引退を望む。

——一月七日——

◙ 岡千代彥氏

疊と女房とは新らしいが宜しいと云ふ日本人には一致しまいが、私は古く永く其事業を繼續して行く人に多大の敬意を表します。人の毀譽褒貶は別として『進め』が兎に角惡戰苦闘をして居るのは何よりも嬉しい事です。新年業務の爲め旅行の車中から遙かに此の一文を送つて進めの前途を祝福いたします。

——一月二日——

◙ 吉川守邦氏

△桐の葉に秋雨聞くや獄の底
△彼等や己れは滿期で今日出るぞ
△ブラ〳〵と獄門出るや年の暮
△獄を出て熱になやむ年の暮
△正月も昨日の儘の身なりかな

——獄中にて——

◙ 宮城三次氏

私は最近監獄へ入つたが本の差入れを許されないので閉口した。入つた當初は許されてゐたが、朴烈優遇問題とやらで今迄見てゐた本を皆取り上げられて、それからと云ふものは、監獄備付の抹香臭いお教の本ばかり見せられて實に無聊で困りました。數日前出てから聞いて見ると、共產黨系の者が怪寫眞を政友會に賣り付けたから、あゝなつたのだと云ふ事だ。彼等は朴烈を賣つて金儲けをするゴロツキの様な奴等だと云ふ事を知つた。政友會の手先、顯●●●●●●●●堺利彥君は共產黨の大御所だから共產系が政友會と結ぶのも亦已むを得ない事だ。堺老の如きは一般に禁じられてゐる差入物を特に許されてゐたのはどうした譯だ。吾々勞働者は既成政黨に何の恩惠もないから差入れ物は許されず、益々本を見る事が出來なかつたのは實際辛かつた。(豐多摩監獄出獄者)

——一月七日——

◙ 倉本晃南氏

近來社會運動と稱して各種の運動に關係する者の中にお體裁主義者のある事を僕は再度見受ける。彼等は表面何々組合運動と稱して口に唱へ、大衆運動又は會議等に向つては、彼等は殊更に粗末なる着衣をなし、粗食を執り、口には俺達は身にボロを着し、辛じて生命を繋いで居る等と體裁を作り、彼等は無產團體や組合の幹部でありながら眞の吾等無產勞働者を詐り、彼等は家にあつては美食美衣を用ひ、甚だしきに至つては×××××××正月早々から藝妓を同伴して旅行に出掛ける者すらある。料理屋遊びする呑氣者のあるには全く愛想が盡きる。最も彼等は自分の金を使ふのだから吾々は文句を言ふのではないが斯様な狀態では地方同志が一致團結して奮闘する事は駄目だ。吾々無產勞働者は今後絕對的に彼等體裁主義者に對しては排斥行動を執る決心で進まねばならぬ。

——一月五日——

◙ 匿名生

私は共產黨の一員として最近監獄から出てきました。『進め』は相變らず御健闘されてゐるのは喜ばしい。私は大正十二年に誤つて共產黨員となつてゐたが其內部に立入つて見ると、流言蜚語を飛ばして友人でも陷れると云ふ事ばかりしてゐるので厭になつた。昨年來監獄に入つてツク〳〵考へて見ると、大衆運動たるべき社會運動に閥を造つて、惡辣な事をやる奴等のやり口が厭になつてきた。そして進め社の人達が高潔で戰闘的であると云ふ事を追慕してゐました。今後私は諸氏の御指導を受けたいと思つて居ます。

——一月二日——

◙ 布施辰治氏

社會運動は陰にも出來ぬ
犧牲拂はぬ人には出來ぬ
どんな犧牲も生命にかゝる
生命惜しくて運動は出來ぬ
社會運動は誰にも出來ぬ

——十二月三十日——

◙ 高島米峰氏

社會運動に從事する人は必らず宗教の信仰を根本基調とする事。聖德太子の如くなるべし。それは眞の和衷協同は宗教信仰の力に依つてのみ可能なりと信ずるが故なり。

——十二月三十日——

◙ 澤井龍之助氏

(一) 僕の近所の某商工實修學校では今頻りに「青年訓練」とやらをやつてゐるが、其の中からポツ〳〵社會主義者が胎れつゝある。これは云ふ迄も無く胎れさすべく「運動」をやつてゐるものゝある證左だが、それにしても訓練の教官共がそれも知らずに銅鑼聲張り上げて無暗に吠えついてゐるのは噴笑するより、寧ろ悲壯な感じがしてならぬ。

(二) 日本の社會運動界では今や頻りに辯證法的發展だの、いや蜂の頭だの、提灯だのと泥み合つてゐる樣だが何れも眞實の『日本』と云ふ事實より掛離れた觀念論に終つてゐる樣だ、マルキシズムを批判化、有用化せずに、頭から『日本』へ持つて來る事は取りも直さず西洋歷史を日本歷史に置き換へる樣なものだ。日本には日本の傳統あり風土あり習慣あり性格がある。それを其儘そつと植木でも置き換へる樣にしやうと云ふのは反動屋がムツソリニーを崇拜する樣に西洋の幽靈にとり憑れた化物である。そして又、日本的などゝ云ふ手合にこんな化物が居る『國粹』をたてに『反動』の御用を勤め、西洋的が『左翼』で、日本的が『右翼』化されてゐる、こゝらをとくと考へる必要がある。

——十二月三十一日——

健康保險法と黄金萬能思想

布施辰治

△ 社會政策と云ふものゝ正體が一種のゴマ化しである事は今更之れを解剖批判するまでもあるまい。

從つて、社會政策的立場と稱するものにも碌なものゝあり得ない事は、寧ろ、當然である。

△ 社會政策的立法だの、勞働者保護法律だのと云ふ鳴物入りで愈々本年一月一日から實施せらるゝ事になつた、健康保險法の内容を解剖して見ると、其のあまりに非道いゴマ化し方が露骨過ぎるので、其の欺瞞に驚かざるものはない。

夫れ故、從來、社會政策と云ふ僅かばかりの好餌に釣れた、共濟組合等にゴマ化されて居た勞働者諸君も、今度の健康保險法のあまりに非道いゴマ化しを憤つて、爭議亦爭議の保險爭議を惹起して居るのは、素より當然である。

△ 私は、今此の稿で、問題の健康保險法が、如何に欺瞞的なもので、其の被保險者たる事を強制せらるゝ二百萬勞働者の猛烈な反對を受けなければならないものであるかは云はない。

△ 私の此の稿で云ふて見たいのは、左樣した健康保險法實施反對の爭議を通じて聽く、黄金萬能思想の魅惑が、如何に恐ろしくも、現代人心の骨の髓まで浸透して居るかと云ふ事である。

どんなに恐ろしい苦しい災害でも、金さへあれば、之を救ふ事が出來ると云ふ保險思想即ち黄金萬能思想の魅惑である。

△ 生命あつての人生であらねばならない、其の人生の絶對存在を象徴支柱する貴い人間の生命さへも、金に代へて、之を償ふものゝ如くに思つて居る保險思想は、其の最も著明なるものゝ一つである。

斯うした保險思想、即ち、黄金萬能思想に魅惑せられて居る者の、健康保險法實施反對の論議は、保險思想其のものに對する反對では無いので、其の組織さへにも良ければ、保險其のものは、必ずしも惡いものではないといふ自殺論法に陷ち、既に其の根底がグラツイて居る。

△ 從つて、問題の健康保險法から觀た其の内容さへにも改善せらるれば、矢張り、勞働者一切の災害が救濟保護せらるゝ事が出來るものゝ如くに論議せらるゝ事は、寔に驚くべき黄金萬能思想の魅惑である。

赤影黒影

＊　＊　＊

共產黨の大[illegible]者[illegible]!日[illegible]黨に對する支持、排撃の二說[illegible]の間なり。總帥山川均氏[illegible]排撃の[illegible]一下、忽ち支持說を唱へし者追放處分になる、亦偉なる哉[illegible]の一擊!

＊　＊　＊

總帥の號令により無產者新聞全紙排撃の二字を以つて埋む、命に忠實なること主者に對する奴隸に似たり、嗤ふべし若き自稱コンミユニストの[illegible]!

＊　＊　＊

俺達にパンを與へよと號叫しつゝ自由勞働者多數、銀座の木村屋を襲撃す、パン略の直接行動として新た[illegible]痛快[illegible]。

＊　＊　＊

建國會赤化案、昨日迄に改心の勸告狀を發す、汝等如きヨタ者に同志扱ひされては迷惑千萬だ、馬鹿!實名[illegible]を知れ!

＊　＊　＊

最近、評議會[illegible]は、僅か十八名署名の[illegible]決議文を發行せざること無[illegible]い如し、紙の運動[illegible]續けては如何?

＊　＊　＊

文士の[illegible]長[illegible]人[illegible]、[illegible]なし、圖に乘り過ぎて[illegible]の[illegible]なうけすんば[illegible]。

＊　＊　＊

無產黨の假面を冠せる日本農民黨遂に馬脚を現す、全國の農民諸君は手練手管の女郎屋の亭主に斷じて欺瞞さるゝべからず。

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

△

苟くも、今度の健康保険法の實施に反對して居るものは、階級差別の觀念から觀た社會政策其のものにも反對な筈である。と同時に、今日の資本主義政府に制定される法律で、表看板通りの偽りのない勞働者保護救濟の實を擧げ得よう筈のない事は、之を承知して居るに相違ない。

△

又、之を純感情的に考へても、政府と資本家と、勞働者が寄り合つて、仲好く對等の立場で勞働者の保護立法を講策し得やう筈の無い事も、判り切つて居る。更らに、今日の政府と、資本家の勞働者處遇に關する對策の實際から見ても、所詮、社會政策の胡麻化しものであつて、勞働者の保護を期するものでない態度のから胡麻化しに憤慨し切つて居る筈である。にも拘らず矢張り、保険そのものは、本質的に惡るいものでないと云ふ黄金萬能思想、即ち、保険思想の魅惑を受けて居る爲に、健康保険法の實施に對する爭議非難の鉾を鋭からしめ得ないのは甚だ遺憾である。

私は、人間生活實際の所要を何でも金に替へられるものゝ如くに考へて居る、黄金萬能思想の魅惑をモ一一歩突き破つて、保険と云ふものゝ正體を解剖して呉れたら、どんなに良い組織で以て實施せらる、保険でも、私共人間生活實際の幸福が奪はれた何ものをも、金錢に依つて救濟保護する事が出來るものだと云ふ思想に出發して居る保険の本質的に惡るいものだと云ふ事に氣付くであらう。

△

そして、今度の健康保険法はどんなに其の内容を改善して見た所で、眞に勞働者を人間的に保護救濟する制度たり得ないと云ふ事が判るだらうと、同時に健康保険法がどんなに十二分の内容改善を期した規定を設けて見た處で、疾病なり、怪我なり、分娩なり、失業乃至、死亡等一切の人間的災害を金錢で救濟せられ、保護せらるゝものゝ如く考へる思想は、矢張り、資本主義經濟の黄金萬能思想だと云ふ事が判るに相違ない。

△

果して、そうとしたら、私共現實の人間生活に必要なものゝ總てを金錢で充足する金錢經濟が、資本主義經濟の餘剩價値搾取を蓄積して、之が資本とする事に、どれ丈け便宜を與へて居たかと云ふ事をも考へずには居られない。そして、私共現實の人間生活に必要なものゝ總てを金錢を以てせんとする保険思想は、又、必然の黄金萬能思想を醸生するものである、と同時に、左樣した黄金萬能思想は、又、必然のブルヂョア思想を胚胎する事に爲る危險をも覺知し得よう。

△

故に、私は、今度の健康保険法に對する反對運動の機會に、斯ふした黄金萬能思想に對する一般勞働者の、如何なる災害をも、金錢で救濟せられたり、保護せられたりして、尊い生命さへも金錢で充足せらるゝものと思ふてゐる黄金萬能思想の一掃を期し度い。（二、一、一〇記）

中間派愈々功を奏し氣概當るべからざるものあり。今後のジャンプを望むや切なり。

* * *

寒風凜烈、路上盛な叫つて喜捨を求むる乞食浮浪、噫！資本主義治下なる哉！

* * *

嬉々として正月を樂しむブルジョアあり、一片の餅すら口にする能はざるプロレタリアあり、何ぞ其の甚い甚し。誰か又憤激せざるものあらんや。

* * *

雜誌「勞働者」號を重ねれど未だ一つとして見るべきもののなきは如何？スクラップ・ナブ・ペーパーに等しき雜誌は出ざるに如かず。

* * *

大生臭坊主權力と結んで教權を一致せしむるの惡狀に對し、小生臭坊主の憤激宗教法案反對運動起こる、何れにしても民衆の搾取を前提としたる狢と狸の爭ひ、共に排すべきや論なし。

* * *

勞農黨委員長に大山郁夫を擔ぎ上ぐ、恥ずべし、自由主義者たることすら疑はしき大山氏を無産黨の總裁たらしむるな。

* * *

彼れ大山は教授に適材たるの人なり、何ぞ能く無産階級を指導するに足らんや教授職の再び就職、愧死に値すべし。

* * *

例の第二為替が結本一夫、近來一手販賣の辯證法、種切れとなり、理論的材料の行詰りに些か困惑、流石の辯證法も遂に小便法となつて終る乎。

全土戰報

訓練所の正體

青年訓練所令第一條に曰く「青年訓練所は青年の心身を鍛練して國民たるの素質を向上せしむるを以つて目的とす」。成程、お役人は頭が良い。ブルジョアの政策には恐入つたものだ。私の村は一小寒村である、不景氣風に荒されて、ヒョロ〳〵になつて喘いで居る。此悲境の村では六百圓も豫算を計上して、僅か五十人足らずの生徒に主事以下五名の指導者に美味い汁を吸はして居る。教練とか何とか言つて小銃を肩に走り廻つたり　或は上官には絶對服從すべしなどゝ、全然農村青年に不必要なる事ばかり强教する。此の如き訓練はブルジョアに取つては極く都合がよいだらう。然し純眞な農村青年が清く伸びんとする秋に際してかゝる壓制的な教練が果して完全なる生育をなし遂け得るであらうか。不必要な教練よりも、何故此の困憊疲幣せる農村に向つて、何故プロレタリアを救濟すべく努力せんか、ブルジョアの工場に勞力を××××××××は不必要なものだらう。要するに俺は訓練所を以つてブルジョアの奸佞たらしめんが為に外ならぬ事と斷言して憚らぬ。おゝ今に見よ！必らず近き將來に於て豺狼の如きブルジョアに攻撃の矢を與へずんば止ます。悲憤の涙は必らずや×××××××ブルジョアに降り注ぐぞ。如何に黄金の塀を高く築くとも我々は×××××××××××。俺はブルジョアの社會を逆に歩む。

【高知縣　原　重喜】

霸氣に燃へよ

俺は社會から毒々しい言葉や餓死の悲鳴を聽かされたり、毎日いやな思ひをして、少しも正義も自由もなく、眞の正義が我利盜賊盲者に背かれたり、搾り取られて居る不正な現資本主義社會に生れ出た。そして倒れ行く無產階級の兄弟を長い長い微笑を以つて流し目に見る横暴な搾取者を見て來た。俺は××××ならなかつた。俺は社會に現社會制度に×××××。俺は正義の為め自由を求めて×××××。それを無智な者は危險人物だと云ふ。自巳の滅亡を強られ、生存權を掠奪されても知らずに眠つて居る我郷土の人、否全日本の民衆よ。

先づ自己に鞭打つて他を笑へ。諸君はすべてを「仕方ない」の一句を以つて何もかも棄てゝ居る。諸君は凡てあきらめの言葉を吐いてゐる。諸君!!諸君は青年である。霸氣に燃えよ。諸君は目覺めねばならぬ。生あるものはきつと生きられるだけ生きやうとする。

倒れる迄闘はふとする。行ける處迄行く。それが我々人間の凡ての慾である。又眞理であらう。此の眞理を忘れてはいかぬ。事は未然に防ぐべきだ。俺の××は美しい人類愛からだ。××××、掠奪の無い新社會創造への叫である。起て！農民！××せよ!!

【愛知縣　淺井岩武】

吾等の第一戰

忘れもしない去る十一月の七日だ。滋賀縣同志の第一回集合を彦根支局なる吉田兄宅で行つた。それが因で遂に六名の投獄者を見たのだ。狂犬の如き血迷へる官憲は無法極まる手段を持つて吾等同志を拷問に掛けやがつたのだ。空腹でヘト〳〵になつて居る者を豚箱同樣の留置場に投込み蹴つたり毆つたりして遂に失神せしめ、深夜より未明に掛けて各々引摺出して數名の犬共が取卷き脅迫したり　誘導訊問を試みたり、實に其の暴虐極に達し、唯吾等は外部よりの救援を待つより外なかつたのである。十一月十八日斬くして彼奴等は僞證的な豫審調書を作製し、治安維持法違反として、遂に吾等六名は湖東彦根警察署より嚴重な警戒裡に湖東二十里余離れた膳所刑務所に送致投獄されたのだ。各々淋しき獨房に冷たき獄窓にもたれてつく〴〵省みた。彼奴等は飽迄執念深く吾々を苦しめるのみだつた。卑怯な手段や暴力を以つて壓迫しやがつた。

憤然として×××××××××××。×××××。不服だ、殘念だ。慘酷だ。無念骨髓に徹す。思はず獄扉を蹴上げた。ドスン…………

＊　＊　＊

ひるでも夜でも牢屋は暗い
いつでも鬼奴が窓から窺く
窺かふとまゝよ塀は越されず
自由にこがれても鎖は切れず
あゝ此の重たい鐵の鎖よ
あゝ見よすた〴〵に引裂き千切れ
いくらわめいたつて籠の鳥よ

＊　＊　＊

泣いたとて笑つたとて世はさまざまよ
陸の果にや海がある白帆が行くよ
渚を枕に一人寝の旅でも
日も射し、月も照る風めがなでる
自ら飢ない自ら飾る
鞭は鞭け暮して行きやれ
自由の足かせ鐵の鎖よ

おゝ地の底遙かに歌つて居る。そうだ吾々は荊棘の道を踏んで居るのだ。どうせ樂には死れないのだ。戰死だ、獄死だ、絞首臺の斷末魔なんだ。そして××××××××××××××。

吾等は今回の彦根事件に依つて全く多くの生きた學問をした。特に官憲の國際政略や牢獄心理は體驗した事に依つて層一層吾等の運動を可能ならしめろ。人間萬事塞翁の馬とは良く言つてゐる。御蔭で、滋賀縣に膳所支局が一つ殖へたのだ。

斯くして吾等の第一戰が大効を奏して終り、愈々新陣容を整へて第二戰線へと向ふのだ。

進め同志諸君よ、共に奮闘せられん事を祈る。

資本主義の罪惡

【滋賀縣 太田增美】

朴暗と無智の地方農民の父兄を甘言をもつて勸誘し、まだ幼い子女を强奪的に連れて來て、不衛生と亂淫の眞只中に無責任にも放任して粗食（この事は後日書いて見たいと思つてはゐるが）と十二時間又はそれ以上の勞働を强ひておく資本主義の權化のやうな製糸工場に於て蒼ぶくれた病人が出るのは必然的なものである。

然もその病氣に堪へられず歸郷するものゝ七十パーセントは恐るべき肺結核患者である、と云ふに至つては、全く人道的大問題で、この根本原因は資本主義の恐怖すべき魔手が搾取に疲幣し切つた農村に及んで生んだ確然たる事實だ。

無産大衆の闘ふべき時だ。否、一刻も早く我等人類の幸福な平和な理想境を建設する爲に資本家主義制度××××××××時だ。

戰線の擴大

【東京 倉澤生】

最近、わが名古屋に於ける社會運動は著しく進展し、官憲の防禦を他に陣容を整へ、内容の組織化したことは顯著な傾向である。隨分今迄、怪しげな運動屋等に眞面目な同志がアヤマられて千辛萬苦を經て、漸く明ろみの曙光を向へた。今試みに一瞥すると、日本製陶勞働同盟、官業勞働總同盟名古屋向上會、日本交通勞働總聯盟、中部交通勞働組合、名古屋市電互助會、同親友會等が中堅をなして、勞働運動の戰線に巨火を輝してゐる。また、借家運動では名古屋借家人同盟會、その他二三が幾多の波瀾曲折を經つゝ、結局はゆくべきところに到達した。

兎も角今迄の輕薄な運動家は自然淘汰されて、人類の聖戰に高解の泪をそゝぐ正義の同志が、戰線を固めたことは慶賀に堪へない大事である。

名古屋の社會運動は戰線を擴大して堅實に富んだスタートをきつたことを喜んで天下の同志に告ぐ。

大演說會の記

【名古屋 加藤一郎】

去る一月三日、吾が支局では、先に當所にて創立せられた農民社主催本部後援の下に我長野縣の思想的中心地大町に於て、『社會問題 大演說會』を開催した。不景氣と寒氣に沈滞せる此雪國の大町に『社會問題大演說會』の赤いビラがはられたのは一月元日午前二時の未だ暗き眞夜中である。

無智に眠れる世人への一大警鐘は早くも元旦の曉と共に鳴響いた。淋しい、暗い元旦の街も斯くして我等の警鐘に愁眉を開いた。陽が遙か餓山に入らんとする時、北安、南安の二郡へ宣傳隊が走つて居た、寂しかりし此の雪國も今や活氣付き、××××××××。

雪犬共の狼狽振と來たら、全く見る人をして嘲笑せしめた。全く其狼狽振りを見たゞけで少しは心が晴れ々する。

我等は斯うした官憲の狼狽を他に見て着々と其歩を進めて行つた。時は來た。期日の三日の正午である。吾農民社の宣傳隊は自動車を一臺かつてメガホンを手に最後の宣傳に出掛けた。時々路傍演說もやつた。

雪犬共は此我等の破竹の勢を見て恐れてか、たゞ唖然として自動車の後に從つて居た。赤いビラは無數に撒布された。午后五時、早くも會場には聽衆が黒山の様に押掛けて來た。午后六時半、大演說會は司會者の開會の辭と共に其口火に點火された。

先づ同町出身の本部の工藤氏が壇上に立つた、五百の聽衆は一齊に高鳴る心臓の響きを靜めた。十分後突然「注意」の第一壓迫砲が發砲された。續いて「中止」「中止」の殺氣砲が署長直立と共に發砲せられた。

次に赤地君が立つた。君は辛うじて「注意」を受けて其難を免れた。次いで農民社の傘木佐君が出た。續いて本部の松山氏が壇上に現はれた。深山、靜寂其ものゝ樣に會場に嚴き正義、眸は焔の如く炎え上がつた。氏の雄姿は戰擔せる猛將に似たり二十數分にして「注意」の命が降つた時に、氏の烱々輝々たる眼光は署長始め雪犬を睥睨せん許りであつた。更らに辯ずる事數分にして又亦「中止」の暴壓砲が飛んだ。此時、氏は泰然自若として、コップに水を注ぎグイと一杯飲み涸した。果然!!「治安警察法第十條により中止を命ず」の署長 警擊は怒氣を含んで邊りに散つた。雪犬は總起立し早くも壇上には四五匹の犬が飛び出した。其時氏は悠々と足音高く壇を下つた。慣

惡、口惜しい、飢た 畜生！ 場内の空氣は×××××××。何たる暴壓だ。彼奴等も閑に勞働者だ。無產者だ。馬鹿！ ××× ××、××××！ 畜生！ 次いで淺野氏が出た。或は低く、或は高く、或は右に、或は左に、或は内に、或は外に續くは〜堂々二時間の大雄辯、幸にして何等の迫害もなく、其の意を述した。

出席すべき辯士未着の爲め、再び赤尾君が壇上に現れた。其鋭い辯鋒は番犬退治に始終した。如何なる番犬も君の辯には赤面を感ぜしめた。無慮六十名の番犬全く笑止の至りであつた。來るべき辯士不着の爲め遂に閉會を餘儀なくされた。當夜は會場の内外を二千三百に、殺伐な番犬の山が築かれた。當地方長野縣下に於ては斯かる大演說會を催した事は吾等が其先驅者である。其反響否効果の偉大なる事は言を俟たずだ。未だ書く事が山程あるが次號にゆずり玆にペンを止める事にする。願はくば全國の同志諸兄！ 玆に雄々しく生粋を揚げし「農民」をして眞に其目的を貫徹せしめよ。

【長野縣 第一支局】

資本の暴虐

我が茨城縣大宮町に資本金三十萬圓を有する常陸酒造株式會社がある 社長は古市某と云ふ元郡長をしてゐた奴である。が創立後幾何もなく、會社の内容は目も當てられぬ慘狀を呈したので、十三年十一月風前村の簿記をしてゐた川又久次郎と云ふ男を無理矢理に簿記を止めさせて支配人にした。川又支配人は紊亂した會社を整理して、今日では相當の配當をする様に漕ぎつけた。然るに飽く迄横暴な古市社長は、會社の秘密を全部知つてゐる川又を恐れ、重役と謀つて、十月下旬川又を馘首して了つた。そしてその後へ古市社長の腰巾着の中村某と云ふ元警視廳の刑事をしてゐた奴を雇入れた。突然馘首された川又は衣食に窮し、妻子を抱へて路頭に迷つてゐる。全國の兄弟！ 斯くの如き冷酷な資本家を葬れ!!

【茨城縣 好尚生】

日本人への不平

殖民地として支配されつゝある我々朝鮮人に對する日本人の態度は、今尚、爆彈や短刀のみを持つてゐる不逞鮮人のみだと思つてゐるやうだ そして我々鮮人勞働者は失業して、内地へ職を求めて來ても、何處の工場も、何處の商店も雇つてくれない 先達て漸く職を得て一ヶ月ばかりはどうやら飯も食へ生活に脅威を感じなかつた。處がだ、冷酷な工場主は朝鮮人は危いからと云つて私を追出して了やがつた、理由を聞くべく在日本朝鮮勞働同盟の人々の懇援を得て會社へ談判をしに行つた。處が早くも穩かならぬ形勢を知つた工場長は平蜘蛛の様に手を突いて謝つたので許してやつた。在日本の朝鮮人諸君よ、朝鮮運動同盟の下に集れ。

【千葉縣 鶴純秀】

假面を剝げ！

中越鑛物株式會社の重役として資本主義的御所として有名な柴田茂兵衞、柴田東作等の粉を助けて同會社を解散せしめ、積立金三十萬圓餘を横領し會社の固定資本金を全部自己の掌中に收めんとせる不德漢中にあつて一方の旗頭となり重役會議株主會議に面をならべて厚釜しくも横着口を利く者の中に小野田善次郎と云ふ奴がある。こいつはなか〜の悪黨で資本主義的小ブル黨、立憲青年黨の山町支部長をやつてゐたことがあるのだが黨議を無視して、悪な事はたらき、追ひ出された程の者であるが財産は何十萬か不明らない程あると云ふ代物。

こいつに目を付けたのが同じく一策士の横暴者と云はれてゐる彼の國の女郎屋の亭主 荒貝快次に師事してゐる日本農民黨石川縣聯合會とかの大雜誌多と云ふ、小新聞を月に二回出して廣告を取つて飯を食つてゐる野郎だ。古人の言の蛇の道やへびだ、惡孤ならず、必ず隣ありと云つたことは矢張り眞理と見えて、早速放逐された前青年黨支部長の小野田の所へ行つて米つきばつたか平蜘蛛のやうになつて農民黨へおはへりくだはれと云つて頼んだものだ。ところが、また小野田の奴如才がないから、面に喜色を現はして、とにかく勝對してはいつてもよいと云つた調子の返答をした。そこで正直な農村の小ブルの息子どもはほんとうに彼れがはいれば運動費に不足しない、よい鳥を見付けたものだと喜び合つたが、第一回の縣聯會には會社の株主會議やらで出て來なかつた。

あとで小野田はある人に語つてあんな奴等に何が出來るものか、阿呆どもめ うふふと嘲笑してゐたと云ふことである。政治運動もこうなれば何が何やら理由が解らなくなる。小野田位では政治運動などは金持のなぐさめにしか考へてゐないのだ。永井柳太郎が大臣になつたとて、篠岡が縣會議員になつたとて、女學校の卒業式に小作徒弟代が式場で屁をたれた程！ 農民の生活には勿論感情にもひゞかんわいとある青年は朗らかに笑へてゐた。

こんな奴等が無產政黨だとか社會運動だとか云つて馬鹿騒ぎをやるので純眞な無產政黨の組織運動が阻害されることが夥しいのだ。殊に小野田啓次郎や柴田東作などのやうな人間の關係してゐる富山紡績や中越織物の女工さん達一千六百名の膏血から搾り取る幹部があると、あるマルキシストが先日私宅へ來て話してゐたが、彼等も人間である以上、そんな不都合もあるまいと私は云つて置いたが何をやるか解つたものではない。それから正義の爲にとて立つた北陸朝日新聞は結局小ブルの機關に過ぎないことがわかり、礪波ホテルの黒川由次郎と云ふ淫賣屋業

博徒だと云ふ、等々。

そんなことはどうでもよいが日本農民黨は無産黨ではないと公言し小野田金持に頭をさげ草高持を幹部に推し無産青年に難ぐせつけて黨から追ひ出すやうな政策をとる日農黨富山聯合のばけの皮をひんむけ!!

【富山縣 梅本國治】

蹶然起

我が親愛なる進め社同人及各支部同志諸兄よ!! 私は十六歳の少年である。そして我が無産階級戰鬪誌の愛讀者です。一號々々と發展し且無産者の永久に敵對せねばならぬブルジョアーと戰ひつゝあるのは何と雄々しい快事ではないか。私は眞の無産者だ。私は某地方官廳のボロ屑である。そして世の中は皮肉にも私の大家主たる某氏に縣廳として威張つてゐる。金で學校を卒へた輩は相當の地位を得てブルジョア的色彩を發現してゐる。俺は此大官廳の一屑人として、勞働者として無産者として發奮せずには居られなかつた。俺にも體がある。一身を犧牲にして無産者解放に盡すべく、ブルジョアーに宣戰を布告したのは今だ。此のペンを取つた時だ。官僚的先輩はつまらぬ說教をやる、そして馬鹿々々しいブルジョアー教育を奬める。然し現社會に於ては吾々無産者にはブルジョアー教育は絕對的に排斥すべきである。惜しむらくは此の吾地に吾等の運動に盡すべき機關が餘りに少ない事です。私は茲に斷然起つて、『進め』に投じたのも亦、必然的の奮起と思ふ。

然し此小さな運動者にもあらゆる迫害があります。私の先輩は勞働運動無産者運動から遠ざからせる樣に努力してゐる。然し私には有難迷惑で害あつて功なしです。私は生くべく戰はねばならぬと思ふ。失業せの範圍に於て、生存權を××されぬ範圍に於て、否奪はれても去る事は出來ません。同志諸兄よ!! 此小さき無産者は諸兄と共に『進め』誌上に活躍し、又無産者、同志の爲に努力する事を茲に誓ひます。私は前にも云つた通り階級的差別の甚だしい官廳に於て常に妬められ、虐待されて居る十六のボロ屑です。此後はよろしくたのむ。

【愛知縣 小川儀作】

着用道德施政

憶第一代文官總督田閣下。於大正九年十月一日。施行自治制度於我臺島。區改爲街庄。廳更爲郡州。外設內臺人男女共學制度。其他種々。可謂治臺以來。施政方針面目一新矣。當時臺人之民心。宛然如天拔落月之歡喜。總督之訓示宣佈一到。臺島大小官吏。無不自覺時勢之變遷。其責任深重。要指導同化臺島之百姓。官以是臺之民。民以是臺之官。官民叫望。無非欲實顯自治之成績。以應時勢之要求矣。惜日月如梭光陰如矢。不料總督已更迭四次。制度改正以來已閲六年有餘星霜之今日。其實猶未甚卓著。而遲々不進。空々取其名而已。爲何故哉。當局者努力不足。雖缺陷眞自治施行。而所以一進一退之前途。亦是莫快。俗語云『畫虎不成而成猫』矣。誠哉實言。亦好笑。恰…恰…恰……。

如此而觀。若非眞自治有道德之本義現在自治制。前途可慮。千萬是不用獨有取笑而已。而且難以實行之中。當局指導不週。而反本年來。臺島悲起種々問題。問題中最爲顯著者。即退官者拂下土地之件。臺島共人所知聞者無不憂心。同情存疑。彼日奪者獨有大放悲聲。問天不答。問地無門。單々屈從在下。一家一族一地方。住民一片淚滴々而下。慘遇之作。聞之而已。不知不覺。情淚已先奪眶矣。臺島衆庶忍氣吞聲之苦。噫。臺島將來爲何慘狀未知。獨是人々望當局者大々同情於水底百姓。相互親愛用德爲本。共存共榮之主義。不偏於左。不偏左右。緊々講究善後策。救民之苦。誠哉是言。萬望爲官爲吏者。以保護人民爲職責。即以教育人民。答報國家蘇養吾身之本意焉。

【臺灣臺中 潘錦宇】

理論より實行へ

今日は昭和二年一月元旦だ。我が●●●●が迎へる正月を迎へたのだ。此區には一寸した温泉がある。關西邊のブルジョアの穀潰し連中、ドラ息子、さては七三耳隱しのドラ娘迄、朝早くから汽車から飛り出して町をゾロゾロ手拭な下げて歩いてゐる。

彼等ブルジョアには眞に賀し奉る正月に相違ない。斯うして正月中温泉に浸つて居れば、成程正月は有難いものだらう。だが俺達無産の百姓には正月等はなんの有難味をも感じない。見よ!! 意外な!! 世は正月だと云つて樂しみ遊んでゐるのに、而もピユーピユーと吹く寒風に曝され乍ら田畑に手入れしてゐるではないか。斯う云ふ俺も其の一人だ。手は凍つて感覺を失つて居る。耳は千切れそうだ。俺達は斯うして努力實らせながら、揚句の果は地主に全部採られて了ふんだ。

資本主義の社會の不合理なる事は今更喋々する迄もない。俺達は何日迄も〳〵理屈ばかり云つてゐられないんだ。理屈より實行へ! 實行より進軍へ! 俺達は突進すべきだ。

こんな事を云へば同志諸君に嘲笑されるかも知れない。然し俺は思ふのだ。理屈は既に充分論議されてゐる。そして相當研究もつまれてゐる。然るに何日迄も、資本主義末期に於ける乃至は沒落期に於ける帝國主義は最後の何とか、かとか云ふ事は實驗になつてきた。そんな事は誰だつて知つてゐるんだ。今更新らしくいふには及ばないんだ。全國の同志諸君! 俺達は何日迄も下らない理屈のみ並べて得意になつてゐる奴を放り出さうではないか。そして實行へ進まうではないか。

【岡山縣 德田英文】

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

殖民政策裏面研究（三）

金熙明

殖民政策史的概觀

以上述べたる處の殖民事業を一層詳かに知るには各國の執れる殖民政策の史的觀察を必要とする。即ち歴史は我々に殖民政策を如何なる方法を以て提示し、如何なる狀態に於て殖民地民族が虐待されたかは、各時代と國土に依つて異る形式となり意義を持つことは必然であるからである。以下順を追ふて古代に於ける埃及、東方諸國、フイニシヤ、カルセージ、希臘、ローマ中世に於けるアマルフイとピサ●フロレンス、ゼノア、ベニス及び近世に於ける葡萄牙、西班牙、和蘭、佛蘭西、英吉利の諸時代に於ける殖民政策に就て小史を述べ比較の便に供せんとする。

一、古代

1 埃及

埃及人は外國を征服しても慢に苛酷な制度を設けず新版圖に對しては極めて寛大なる放任主義を採用し只僅かに其國君酋長等に納貢を命じたものである。殖民地は別に國家の權力を以て創始したる即ち征服したものにあらず、本國民の政事上宗教上の迫害を避けて若くは生活上の必要に迫られて自ら移住した處の人民の集團所謂私人的殖民地の一例であつた。

2 東方諸國

(A) アッシリヤ

アッシリヤ人のその征服したる土地及人民に施した政策は一顧に値するものがある。即ち彼等は土地を以て附近政府の所營となし時としては自治制度を許し又之を州縣に分ち行政官を置き駐屯兵を派し以て之れを治めた。被征服人民は只アッシリヤの法令に遵ひ租税を納め兵役に服するの三大義務を有した。特に之に向つて慘忍なる行爲を取らなかつたのは蓋し後世の批判に價するものであるが且又アッシリヤの政府の人民換置政策も一考に價するものである。

アッシリヤ人は四方を兵力を以つて侵略し其土地の人民は直ちに之を本國に送り本土内に居住せしめ、之と同時に本土の人民を征服地に送置して此處に新らたなるアッシリヤ王國の一部を作らしめたのも一種の殖民政策と云はざるを得ない。

(B) メジヤ

メジヤは其屬領地を支配するに當り本國に接近せる地方のみを中央政府に屬せしめ又其地方の政府をしてその地方に接壤せる地方を統治せしめ漸次延て其關係の濃淡を區別し關係の密なる者をして其薄き者を治めしむるやうな政策を採り租税を取る上に於て距離の遠近は難易問題に係るものに付き近距離にして租税の納入多く且つ簡易なる地方を優遇したものであるが此政策は遠近の間に統治の公平と不完全を缺ぎ遠距離の人民をして不平を抱かしめ且つ之に對して威信完全に行はれず終に禍根茲に發して其朝廷の轉覆を見るに至つた。

(C) 波斯

波斯は徹底的武勇を以て誇りとなしたる國にして屬國の水兵を以て編成したる艦隊を所有したが之は通商貿易の先驅を意味するものでなく、保護者としての威信のためでもなく只劫掠の器械に過ぎなかつた。商工業は之を蔑視し詐欺的行爲として宗教上の信念を破るものとして其首都に於ては之を禁むことを禁止し只地方の市邑に於てのみ之を赦し且つ本國と屬領地の富源を開放することを許さなかつた。

(D) アンカルチヤ

カルチヤ人は古代の人民中最も文明の域に進みたる民族にして建築、彫刻、科學、哲學等も多くはその根源を此處より發し

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ギリシヤ、ローマに入りて大成したと云つてゐる。けれどもその屬領地統治上には別に新機軸としての政策を失はず單にアッシリヤ人の人民換置法を襲用したやうである。且つ被征服者の利害をあまりに眼中に置かず單に本國の首都の富强と美飾を計るを根本の目的として收劍誅求殆んど到らざる處なく都府以外の他の都市は凡て之が荒廢に歸し遂に國勢の衰弱を誘致した。

凡そ埃及を始めとし是等の東方諸國は互ひに覇を爭ひし時代に於ては今日の所謂殖民とか、殖民地の區別がなかつた。彼等が兵を擧げて他國を侵略するものは是れ殖民地として移民を奬勵し商工業を普及して利を得んとしたものにあらず只武力を以て敵を威嚇し之を占領して領土を擴張し人民を增加支配せんとする英雄的野心を滿足せしむる動機に外ならない。

若し之が經濟思想に基く殖民思想的動機の侵略なるときは武器のみを擧げず經濟的に商工農業に、之が競爭を試みるであらう。この經濟的思想に基き殖民的勢力を扶植し永く史蹟を止めたものはフィニシヤ國民である

3 フィニシヤ

フィニシヤ殖民地及其屬領地に對する政策は今明かに之を知ることが出來ない。たゞその本國との關係は單に商業上の利害を同一にするがために自然に平和に持續せられ殖民地及屬領地は多少の納貢をした。本國は二人の知事と元老院議官とを自國民中より選出し終生其地方の統治者たらしめたるの外別に行政上の干渉を施さず極めて散漫たる關係たりし事を知ることが出來る。

4 カルセージ

カルセージは殖民地開拓最始に於て移民政策に依る方法を取つた。即ちカルセージに於ける浮浪階級其他の本國に於て持あましてゐる連中をかり集めて之を將に開拓せんとする新殖民地に送りて、現住民と雜婚を盛んに奬勵し、財產事業を保護して專ら土着の人民として永住することに務めた。之は當時に於ける一種の同化政策とも見ることが可能である。

5 希臘

希臘に於ける殖民政策を研究することは甚だ困難なことである。私は玆に於て先づ希臘人の殖民の原因を尋ねなければならない。即ち希臘は如何なる理由に依りて殖民を奬勵しなければならなかつたか。

(イ) 山間谿谷多きがため增加しつゝある人口問題解決のため。

(ロ) 陸路嶮峻なる故生產品の販賣とその運搬に困難なるため。

(ハ) 武力を養成し權力を國外に振ふため

以上に依ると希臘の殖民は埃及、東方諸國時代に比しその面目を一新し稍々近代的政策に類似點を以つてゐる。即ち(イ)の人口問題の解決の如き(ロ)の經濟的產業問題解決の如き、(ハ)の帝國主義保持のため必要とする軍國主義を發揮するための諸點は近世殖民政策とその方法上に差異はあれど原則としては一致的なものである。

希臘は武斷政治を尊ぶ政治的傾向を持つてはゐたけれどもその殖民地政策に限つては極めて平和穩健な手段を取つた事實は特筆すべき點である。

即ち彼等は武力を以て先取者を討伐し之を占領するが如き手段を取らず未だ外人の手の届かざる地を選びそこに人口を繁殖せしめ、文化を創造し、資本を豐かにして生產業を營ませるに依つて漸次新らしき殖民地を開拓するに至つた。土地の如きも掠奪の如き不法行爲に出です土民より之を買收することを常とし歷史上に見るが如き殖民戰爭は只自國の領土を保持防禦せんとする意志に止り征服的戰爭ではなかつた。

なほ希臘に於ける殖民地とその統治關係は前章に於て已に述べたる如く所謂アバイキア制度であつて、アゼンスを除いた諸

社告

吾社講演部は一時活動を停止してゐたが、本年一月より復活し、既に去る一月三日長野縣大町に於ける支局主催の演說會を應援し信州の大地を席捲した。地方の同志諸君は運動の一舞臺としての講演會を是非開催せられん事を望む吾社は飛檄一度舞らば何日でも五、六人の辯士を派遣する

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

殖民地は之を總て本國の統治區域より除外して一種の獨立國として、殖民地は本國の干渉を受けず各々思ひ〳〵の政治組織を有する社會狀態であつた。即ち殖民地はアゼンスは羅馬のクレルチースの方法と反對に殖民地が本國の屬領地としてのそれに非らずして、殖民地自らの獨立的なものであり故に殖民地の集合を聯合殖民地と謂ふた。

こゝに忘れてはならぬことはその殖民地中の一つであるアゼンスである。アゼンスは諸殖民地をアパイキア制度にしたに反し之を本國に從屬せしめその住民は本國の支配を受けせしめたその故かギリシヤ殖民地の中最も隆盛を極めたものはアゼンスである。

6 羅馬

羅馬は前項に於て述べたるギリシヤがその殖民地に取りたるアパイキアにあらずしてそれに全然反するクレルチースの方法であつた。即ち前者の殖民は單に民族の散布であるのに反し後者は權力の統一即ち本國と屬領の統合主義である。希臘に於てはその本國に於て發生した凡ゆる文化が却てその諸殖民地に於て實を結び花を咲かせて美術、哲學、音樂、文學、詩人、が殖民地の住民中に多かりしが、羅馬は凡ての富と知識を之を都會中心主義的に集中したるためローマの文化は之が總て都會に於て發生した。そこで羅馬の取れる殖民政策も勢ひ統治の目的を本國擁護にのみ用ひ、殖民地に於ける被支配階級及びその生活文化には苛酷なものがあつた。

政府は殖民地移住に適合する人民の部隊とその住むべき土地を選擇して之に本國と相異る特殊の法令を布き本國の擁護と利益になるべき事業を作業せしめなほ武力を以て永久にローマ帝國に反逆し得ざるやう嚴酷なる制度を規定した。元老院は當時政府の武力に依りて掠奪したる即ち侵略した征服地を沒收してそこに本國の人民を嚴選して移住せしめ凡ゆる設備を與へて作業に從事せしめその領與を受けたる移民をローマ帝國としての市民權を與ふものと制定した。即ち之は市政上貧民統御の困難を少くし外に於ては善良なる農業品供給者と勇敢なる兵士とを得る結果を呈した。

ローマの移民は殖民地に向つて出發する當時に於ては一個の軍事上の意味に於ける軍隊であるけれども一度彼地方に到着したる以上は、武器を捨て武具を脫いで鋤と鍬を手に取りて之に換へることにした。なほローマの殖民史上に於て三つの階級を發見することが可能であるが即ち之は殖民條件の地方的變異を物語るもので羅馬殖民地、ラテン殖民地、イタリック殖民地の如きもので之等は要するに殖民地統治上の本國との法制の階級を物語るものではあるが民族的人種的感情意識及び本國の利害關係より發生したものである。

以上の要言より綜合してもローマの大帝國は劍を以て與り鋤を以て支持したことが窺はれるが殖民政策の結論は誠に武力によるよりも農業的殖民及び裁殖的殖民の方法の方が遙かに恐怖すべき歷史的運命を所持してゐるものではないかと感じられる茲に於てローマ帝國主義を大國主義的統合殖民政策と稱ぶ所謂であらう。（未完）

◇新刊紹介◇

フエリー實證派犯罪學（淺野研眞氏譯）

石川五右衞門は、濱の眞砂と世に盜人は絕えない、と喝破して刑死した。果して犯罪は不滅であるか？

今日、我國の犯罪は年と共に益々增加しつゝある。そして其の九割九分は、所謂「貧の盜み」であることを忘れてはならない。卽ち犯罪の多くは、社會組織の缺陷が製造するものであることは明かだ。

犯罪學は嘗つて支配階級の擁護をその任務とした。然るに本書の著者フエリーは、奮然起つて、云はゞ「プロレタリア犯罪學」を建設したのである。彼れは、伊太利ローマ大學の教授にして、また同時に伊太利社會黨の中心人物である。本書は彼の犯罪社會學の根本原理を簡明に說述せる絕好のもの飜譯は親切にして、また明快、プロレタリアートも、今や社會科學の一部門として、この犯罪學の敎へを叩かねばならぬ時に際會してゐるのではなからうか。敢へて一讀をすゝむ。（定價壹圓、四六判一五〇頁、上製函入、東京市神田區表猿樂町二三、文耕社）

戯曲

理想社會の夢（一幕）

行村義雄

人物

彼……資本主義時代の無産階級闘士。
第一の男……同、軍人。
第二の男……同、工場主。
第三の男……同、代議士。
第四の男……同、無産階級闘士。
第五の男……同、警官。

舞臺

工場の裏門。（朝。）
彼が門番をしてゐる。
第一の男出勤する。破れかゝつた、油じみた軍服を着てゐる。

第一の男。やあ、お早う。

彼。あゝ貴下は、以前の伯爵陸軍大將閣下ですね。どうです。こたやしませんか。

第一の男。こたえるどころか、毎日愉快に働らいてゐますよ。實際、こうした社會へ生きながらへられた事は幸福だと思ひますね。

彼。もう殺人用のサーベルも、虚榮の勳章も不必要になりましたね。身體が輕くてさつぱりしたでせう。

第一の男。ほんとうですとも。人類のお互が殺し合ひをするなんて……よくもあんな殺風景な商賣が、この僕に出來たもんだとつく〴〵思ふ事がありますよ。

彼。社會の經濟組織がよくなれば、戰爭等と云ふ事は、藥にしたくも始まりませんからね。

第一の男。實際人殺しをする事ほど、世の中にこんな罪惡はありませんからね。

（第一の男入る。第二の男出勤する。肥滿した赤ら顔の男。）

第二の男。やあ、お早う。朝つぱらから御苦勞ですね。

彼。お早う。今度は、以前の鐵工所の社長君ですか。どうです、今度こそストライキも起らないし、どこかの銀行家の様に、暗殺される心配もなし、實に安心したものぢやありませんか。

第二の男。尤もですよ。じつさいあんな社會では、晝も夜も、生きた心持ちやありませんよ。生き甲斐のある生活を、始めて味ふと云ふものです。

彼。お互のうちに、搾取する人間もなく、搾取されるものもなくなると、みんなが、はじめておもしろく働けるものですね。根本の社會組織がわるいうちは、二ッの階級は、いつまでも妥協する事は出來ませんからね。

第二の男。いや、資本家同志が早く目覺めればよかつたのです。

彼。然し、今では誰もあなた方を憎んではゐませんよ。それよりも、搾ぼりあげて、食つてよく肥えたあなたの格構がおかしいばかりです。所謂、身から出た錆ですかね、ハハハッ。

第二の男。いやあなたの皮肉は仲々辛辣ですねハハハッ。

（第二の男入る。第三の男出勤する。へシャげたシルクハットを冠つてゐる。）

彼。おや、シルクハットが破れてゐますよ。

第三の男。廢物利用ですよ。格構は感心したもんぢやありませんが。

彼。そのシルクハットについては、僕にも思ひ出がありますよ。僕が子供の頃には、そのシルクハットと云ふものが、ながく胸についてはなれなかつたものです。僕は、今もそうですが、生來、へんくつで、友達はみんな軍人になると云ふのに、僕だけは、いつも代議士になるんだと、云つて威張つてやつたものです。けれ共、だん〳〵大きくなつて、社會的に目覺めてくると……無論、僕は生れ乍ら貧乏人でしたから、いつか、自然のう

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

ちに、あの社會の不合理な經濟組織に對して、大いに憤怨を抱いたもんです、遂々、代議士熱なんかいつのまにか消えてしまつて、結局共産主義者になつて了いました。

第三の男。それでは共産主義社會が出現しておそらく代議士になつた時よりも嬉しかつたでせう。

彼。あなたの云はれる通りです。ほんとにね。だが、あなたは、そんな柔らかい手にハンマーは重すぎやしませんか。

第三の男。ハハハツ。お安く見ましたね。これでも一人前の男ですよ。それに、一人の幸福でなしに、萬人が、不安のない生活に生き得られるためには、元より望ましい事ですからね。

（第四の男入る。第五の男急いで登場。）

第四の男。おい兄弟。今のはかつての喧嘩代議士君ぢやないか。議會で喧嘩ばかりしてゐたあいつだらう。ばかに早くやつてくるんだなあ。

彼。代議士君ばかりぢやない。陸軍大將も、それから君達をしぼつてゐた工場主も、すでにやつて來てゐるよ。

第四の男。おや、そうかい、おどろくね、こうなつて見ると、この社會改造運動の實際にたづさわつてゐた僕なんか、氣になつて顔は合はされない。

彼。俺達の理想の世界を、あいつらの手から取り戻したと云つても、ちつともあいつらの生命を縮めた譯ぢやなし、それどころか、却つてあいつらは、その生活が完全に保證されたぢやないか。誰が、どこに不平の云ひどころがあるものか。

第四の男。俺は始めて、眞の勞働の喜びを感じる。俺達はもう飢えなくてもすむのだ。もう人類の凡てが、働けば働くほど、お互に幸福たり得るのだ。働らかう。壓迫のない自由な社會に、力いつぱい働く事は、生のよろこびだ！

（第五の男出てくる）

第五の男。おや、路傍演說でもなさそうですね。

彼。あゝ、警官ですか。さすがは職業柄だ。

第四の男。まさか檢束するんぢやありますまい。

第五の男。ハハハツ。刑務所が紡績工場に變つちまつちや、引つぱつて行きどころがありませんよ。なら、僕が引つぱらない證據に、握手をしませう。（第四の男と、握手をする。）

第四の男。ハハハツ。あんまり油がのりすぎてね。

第五の男。かつての勞働運動の闘士たる氣分が、まだ殘つてゐると見えますね。

第四の男。そうかね。だが、こんどこそ、どなたも完全に失業しましたね。

第五の男。全くですよ。罪人と云ふものが世の中になくちやね。ほんとに僕はね。たとへこんな社會が出現しても、人間に罪と云ふものがなくなるとは夢想だにしませんでしたよ。今更、その頃の自分が、ばか〳〵しくなつて仕樣がありません。

彼。ハハハツ。そうすると、あなたも隨分、資本家の味方だつたらしいですな。

第五の男。いや、僕だつて、元來は貧乏人なんですよ。最初食ふに困つて、まあ、その當座の生活しのぎに警官になつたんですが、わるい事に、遂ほんとうの警官としての資格を備えてしまいました。いや、むりやりにそうされたんです。資本家の手先にね。元々、警官が好きであつた譯ぢやなかつたんです。

第四の男。ハハハツ。あなたは仲々辯解がうまい。

（一同哄笑する。）

彼。おつと、もう六時だ。追つゝけ押しかけるだらう。

第四の男。モーターへ油を注いでおこう。

第五の男。材料倉庫をあけておこう。

彼。あゝ皆が樂しそうに働らいてゐる。何といふ喜ばしい事だ。見るもの聞くものゝ凡てが美くしい。

（第四の男。第五の男入る。折から、あたり騷がしくなる。人々が出動しはじめたのだ。彼は改つて、歩哨の樣に立ち續ける。）

—幕—

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

勞働運動講座

英國の勞働運動（三）

淺野研眞

第五節 政黨運動の勃興

一、社會民主同盟

一八八一年一月に至り、ハインドマン等によつて『民主同盟』なるものが組織された。これは一八八四年に至つて、『社會民主同盟』と改稱した。そしてマルクス主義を以て其の主張となし、以後しばらくの間、英國に於ける勞働階級の政治運動の中心となつた。

此の同盟は、その原理に於いても、また其の活動に於ても、大體に於て、大陸風の、特に獨逸風の社會民主黨の其と同じであつた。しかし、此のマルクス主義的政黨運動は、英國に於てその地盤を作ることが、少くとも其の當時に於ては不得策であつたやうである。即ち社會民主同盟の活躍は相當見るべきものがあつたにも拘らず、選擧に於ける其の投票數は、大なるものではなかつた。

二、社會主義聯盟

一八八五年には此の社會民主同盟よりの脱退者の一團によつて『社會主義聯盟』なるものが組織された。主として、ウイリアム・モーリスが、その運動を代表した。然し此れは長續きをしなかつた。

三、フエビアン協會

フエビアン協會は、一八八四年、即ち社會民主同盟の創立と同年に、組織された。これは進化的社會主義の遂行、並に其を英國の政治に滲透せしむることを以て目的とした。

初め、この協會の會員は甚だ少數ではあつたが、極めて有爲な青年思想家を集めてゐた。即ちバーナード・ショウ、シドニー・ウエッブ、サーシドニー・オリバー、グラハム・ワーラスなどは、其の代表的な人物であつた。

一八八九年、この協會は『フエビアン論文集』を出版した。そして英國社會主義に基礎を與へた。即ちマルクス主義の英國的修正が現はれた。

この協會の運動は、速かに全英國に響いたが、それが概して知識階級の運動であつた爲め、むしろロンドン以外の地方では、むしろ後出の獨立勞働黨の方が優勢であつた。

會員の活動方面としては、勞働者クラブに於ける連續講座や多數のトラクトやパンフレットを出版することによる大衆教育の方面であつた。また實際的進歩黨を作つて、一八八九年から一九〇六年まで、ロンドン州會を支配して居た。

フエビアン協會の主張は、自由黨の政見に、また時には保守黨の政策にさへ、多くの響きを與へたと云はれてゐる。今、彼等の取つた態度を見るに次のモットーが良く其を示してゐる。

曰く「丁度よい時が來るのを諸君は待ち給へ、丁度、フエビウスが、ハンニバルと對戰しつゝあつた時、多くの人が彼の遲滯を非難したにも拘らず、非常に心棒強く待つて居たやうに、然し、いざその時が來た時には、諸君は猛烈に攻撃せねばならない。丁度、フエビウスがさうしたやうに。然らざれば、諸君の待つたことは、無益になり、且つ無駄になるだらう。」

即ち、會名のフエビアン協會も、此の古代の英雄フエビウスから取り來られたものである。

一八八七年七月――十月の會議に於て、協會は『フエビアン協會の基礎』なるものを決定した。これはフエビアン主義の要點を闡明してゐるものとして、屡々引用されるものである。即ち次の如くである。

フエビアン協會の基礎

フエビアン協會は、社會主義者から成る。

それ故に、それは土地及び産業資本を個人的並に階級的所有から解放し、以て其等を一般的利益のために社會に歸屬せしむることによる社會改造を目的とする。この方法に於てのみ國土

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

の自然的及び既得的利益が全民衆によつて公平に配當され得るのである。

從つて本協會は、土地の私有財產と此に伴ふての地代、土地の使用の許容に對して、並に優秀の土壤及び場所の利便に對して支拂はれる代價の消滅のために働く。

本協會は更に、社會的に都合よく處理することの出來るやうな產業資本の管理を社會に轉移するために働く。と云ふのは、過去に於ける生產手段の獨占に依つて、產業的發明及び資本への剩餘收入の轉化が、主として所有階級を富まし勞働者は今日生活費を稼ぐことの許可のために此の階級に從屬してゐるからである。

若し此等の方法が、代價なくして――剝奪された個人に對し社會に適當なりと思はれる斯る救濟がなくても――行はれるとすれば、地代と利子とは勞働の報酬に加へられ、今日他人の勞働によつて生活しつゝある怠惰階級は、必然的に消滅し、そして機會の實際的平等が今日の制度の結果してゐるよりも個人的自由に干涉することが遙かに少き經濟力の自發的行動によつて維持されるであらう。

此等の目的を達するために、フエビアン協會は、社會主義思想の普及と、そして其の上に、その結果としての男女に對する平等の市民權の樹立を含んでの社會的及び政治的變化に注意する。それは經濟的、倫理的、及び政治的局面に於ける個人と社會との間に於ける關係に關する知識の一般的普及によつて此等の目的を達することを要求する。

フエビアン協會の事業は、差し當り次の諸形態を取る――

（一）社會主義に關する諸問題の討論のための諸會合。

（二）經濟問題の進んだ調査と、それの說明の寄與する諸事實の蒐集。

（三）社會問題に關する報告書、及び社會主義に關する論證の刊行。

（四）他の協會及び倶樂部に於ける社會主義講演及び討論の獎勵。

（五）社會問題に關する公開會議及び討論に於ける本協會の提議。

以上が、その全文であるが、これによつても、協會の大體の輪廓は、之を知ることが出來るであらう。（カーカップ「社會主義史」四六六―七頁參照）

青年教員に檄す

希望滿々たるべき青年教育者は何故に意氣消沈して氣概の見るべきものなきか、何故に浮標の如く漂々として不平煩悶に憂愁の眉をひそむるや、兒童に「いろは」を教ゆれば能事畢れりとなし、全力を形式の方面にのみ傾注し、果ては社會より一種の機械視さるゝ所以のものは卽ち自ら招くの罪たらずんばあらず。夫れ教育者たるもの奮起すべし、教育者は社會の不合理を去り、不正を戒め兒童を之れに誘導し、以つて靄々たる樂園を地上に設くべき使命を帶ぶるものなり。世には宗教家なる者あり、改過遷善を說くと雖、幷は一部有產階級の利用する所となり、權力と結びて我が貧民の膏血を吸ひ盡さんとする惡鬼たり、宗教を信ぜざれば安全立命の期なし來たり道を聽けと叫べど科學の前に覺醒せる民衆の來たらざるを如何せん、武士道鼓吹者あるも二宮尊德黨あるも儒教者あるも其の化を及ぼす所は何ぞ大海の一滴にも價せんや。快なる哉青年教育者は實に他人の企及すべからざる特典を與へらる、卽ち圓角柔剛意の如くなる兒童を悉く掌中に握れるなり、人生を享け誰か一度小學校の門を潜らざるものありや、偉なり青年教育者は天眞花の如き幼童の尊敬を一身に集むる特典を有す、滿天下の青年教育者たるもの何ぞ汝の使命の大なるを知らざるを得んや。然るに何ぞ、社會改造の大使命を帶ぶる青年教育者は今や昏醉の境に惰眠を貪りつゝあり、吾人不肖なりと雖近代資本主義の罪惡、不正、慘虐、壓制、腐敗を倒し、自由平等、友愛、悅樂の××××××建設の爲に盡さんとして、頃に××××軍の一兵卒たらんとして、玆に僚友數名と語らひ、改造聯盟を設置せんとす。近代社會思想の趨く所に應かんとする青年教育者諸君!!悄然たる汝の意氣を奮然として××軍の勇士たるの意氣に躍進せしめよ!!再び云はん、吾人は何人も企及し能はざる特典を與へられたるなり、圓角柔剛何れにも傾くを得る兒童を掌中に與へられたるなり、何ぞ青年教員たるもの此の特典を利せず可ならんや。吾人は全國の青年教員諸君と結んで牢固たる一大團結を結成し××××無產階級の理想×××××××××。希くば誠意あり、正邪善惡を知る全國の青年教育者諸君よ!!來りて吾人と步武を共にせよ!!

――白村義一――

四、獨立勞働黨

獨立勞働黨（I・L・P）は一八九三年一月、主として代議士ケーア・ハーディーによつて創立されたものである。これは純然たる社會主義團體であつたが、マルクス主義的ではなく、むしろ勞働組合主義の色彩が、濃厚であつた。

獨立勞働黨の主たる目的は、勞働組合會議（T・U・C）を自由黨から切り離して、勞働階級自體の黨派を作ることにあつた。彼等は主張した――

『勞働者は工場に於ては、自由主義の雇主に向つてストライキをするが、議員の選擧に於ては、其の雇主に投票し、そして彼等をして罷業に干涉する所の法律を制定させたり、運用させたりする事は、馬鹿げたことだ。勞働組合は、經濟的に獨立の活動を續けて、資本家階級と戰つてゐる今日、政治的にも勞働者の獨立の政黨を組織するの必要がある。』

と。而して此の切離し政策は、一八九九年に至つて遂に成就された。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

第六節　勞働黨

一、創立と發展

一八九七年及び一八九八年のタッフ・ベール事件は、議會運動の必要を、急に痛感するに至らしめた。かくて一八九九年九月、プリマウスに於て勞働組合大會が開かれた時、『勞働代表委員會』の設立の基礎を据えるべき決議を採擇された。

かくて、一九〇〇年二月に至り『勞働組合會議議會委員會』(T・U・C・P・C)と、前出の三つの社會主義團體によつて召集された大會に於て、勞働黨は、創立さることになつた。そして初めは『勞働代表委員會』(T・R・C)と稱して居た。

此の委員會は盛んに活躍を試み、一九〇〇年十月の總選擧には、十五名の候補者を立て、リチャード・ベル及びケーア・ハーディーの二氏が當選した。

次いで補缺選擧に於て三名が議會に送られ、勞働議員は、一九〇四年に於て五名を算した。

越えて一九〇六年一月の總選擧には、五十名の候補者を立てて戰ひ、二十九名の議員を議會に送つた。この成功に刺激されて、同年二月に開かれた第六回大會に於て、勞働代表委員會は遂に『勞働黨』と改稱するに至つた。

この黨の政策は、常に社會主義の實行にあつた。委員長には最初にハーディーが就任し、二年を經てヘンダーソンが擧げられ、一九一〇年に至つて、バーンズが之に代り、一九一二年には後に内閣を組織するに至つたラムゼー・マクドナルドが擧げられた。

今、勞働黨の最近までの發展を、選擧に於て見るならば、即ち次の如くである。(ハッチサソン『勞働政治論』一九二五年刊、一一五頁による)

總選擧の年次	立候補數	當選數	投票數
一九〇〇	一五	二	六二、六九八
一九〇六	五〇	二九	三二三、一九五
一九一〇(一月)	七八	四〇	五〇五、六九〇
一九一〇(十二月)	五六	四二	三七〇、八〇二
一九一八	三六一	五七	二、二四四、九四五
一九二二	四一四	一四二	四、二三六、七三三
一九二三	四二七	一九一	四、三四八、三七九
一九二四	五一四	一五一	五、四八七、六二〇

即ち年と共に、勞働黨が進展し來つたことは、此等の數字が明瞭に物語つてゐる。と云はねばならない。(次號完結)

鈴ケ森だより

全國の同志諸君に

■吾誌は既に五年の齡を重ねた、此の間發賣禁止を食ふ事、實に二十數回日本に於ける發禁のレコード破りだ。

■今日、無產者を標傍する新聞雜誌は甚く閥や組合の機關紙である、然し吾等は一黨、一閥の如き眼中にない。吾等の味方は全無產大衆のみ。進め社の同人は不偏不黨である。小我を捨て大我なる無產大衆全體の利害の下に身命を献ぐ。

■全國の同志諸君、吾等と行動を共にせよ。戰線破壞のニセ者を葬れ！

(平八郎)

雪中の奮戰

■元旦早朝、都の不景氣風に追はれて來た所は、俺の田舍である此の長野縣だ。寒い懐を抱へて寒い國へ出掛けたのは遊ぶ爲めぢやない。演說會の應援の爲めだ、それは去る一月三日に開かれた本社支局農民社主催の社會問題大演說會だ。俺の外に、淺野氏と松山氏とが一寸遲れて會場へ到着した。

■盛會なる事、未曾有と云ふ。聽衆五百、番犬六十有餘匹を以つて警戒した。癪でならなかつたのは譯も解らない田舍警部に中止を喰つた事だ。一時はムッとしたが、騷いでも詰らないと思つて素直に引込んだが、實際癪だつた。全國の支局及び同志諸君よ！大いに演說會を開かれたい、何日でも飛んで行く。(工藤)

爭ふ者を撃て

■内輪喧嘩の元祖は堺利彥だ、彼は陰險、德川家康の如し、山川均も又彼の惡い所を眞似て居る、彼等の爲め葬られた者は幾百人あるか數へ切れぬ。

■共產黨や評議會には小堺小山川が居て社會運動を毒して居るのは周知の事實だ、彼等の日課は流言蜚語製造と離間中傷のみだ、ロシア帝國から金を貰つて晝は社會運動を攪亂し、夜はカフェー廻りばかりして居る。一刀兩斷の價値は充分ある。

■全國の同志よ、こんなドロ幹、ゴマの蠅を撃て！(福田稻夫)

躍進する吾社

■吾々は依然として終始一貫、思想的背景とした嚴正中立の立場にある。徒らに一組合、一政黨を擔ぐものではない。近來、無產階級の諸團體は、各々自らの手前味噌を並べるに汲々としてゐる。吾々は之等のものに對して、眞正マルキシズムの立場から、更らに嚴正なる批判を試みるであらう。

■福田氏は近日中に日刊新聞を發行する。無產階級唯一の日刊新聞として大勢力たらしむべく、目下準備に忙殺されてゐる。近日中に於ける吾が社の大飛躍。乞ふ刮目せよ！(松山)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

絶えず品質を精選し、價格は低廉に趣味と實用を標語として、常に社會の趨勢に鑑み、時世に適應して改善に改善を加へつゝ、不斷の努力を續けてをります

當店は店内の諸施設、店員のサービスに於ても萬全を期し、只管華客各位の御滿足と御愉快を以て直ちに當店の喜びと致して居ます。

地方よりの御註文は通信販賣部宛に願ひます、尚その御手引として御便利なる當店發行の「三越カレンダー」は御申込次第御送付申し上げます。

大阪市

三越呉服店

高麗橋

婦人良薬

喜谷實母散

本舗

東京市京橋區中橋大鋸町

喜谷市郎右衛門

電話京橋五五番 五六番

産前、産後、血の道、引風、冷込等に特効有

▲全國到る處に販賣す

金銀

白金

東京市神田區松田町

徳力本店

勞農總聯合の旗幟

半月刊

日本勞働新聞

一部五錢 一年一圓

東京市芝區新櫻田町一九

日本勞働新聞社

左翼文藝思想雜誌

月刊

野獸群

一部二拾錢 送料二錢

東京麹町區麹町九丁目九

野獸群社

二月無產政黨批判號

菊版

解放

定價五拾錢 送價二錢

東京市芝區新櫻田町一九

解放社

電話銀座二〇七七番

振替東京三六九四四番

今村等編輯

半月刊

勞民新聞

一部五錢 一ヶ月拾錢

長崎市目覺町一八

勞民新聞社

中國無產階級言論機關

週刊

中國評論

一部五錢 一ヶ月廿錢

吳市外天應

中國評論社

關西勞働組合機關誌

月刊

勞働大衆

(工場生活改題)

一部五錢 一年五拾錢

大阪市東成區鶴橋木野町二四〇

勞働大衆社

日本勞農黨機關新聞

半月刊

日本勞農新聞

一部五錢

一年一圓

勞農大衆は日勞黨へ集れ！

發行所

東京市芝公園五號地四番

日本勞農黨本部

農民は讀め！勞働者も讀め!!!

創刊號

農民

一部拾五錢

送料二錢

農民解放の戰鬪的行動へ突進!!!

發行所

長野縣北安曇郡平村傘木幸壓方

農民社

明日さ云はれず

今直ぐに

生

大同生命

大阪土佐堀

窓硝子
曹達灰
重曹
鹽化石灰
炭酸石灰
炭酸苦土
耐火煉瓦
補助肥料 促肥素

資本金　壹千貳百五拾萬圓

窓硝子年產額　壹百四拾萬凾

曹達灰年產額　壹萬五千噸

旭硝子株式會社

本社……東京市丸之內

工場……尼崎、戸畑、鶴見

出張所……東京、大阪、門司、名古屋、小樽

試驗所……東京

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

社會問題パンフレットを備へよ!!

マルクス 哲學の貧困

マルクスの初期の名著『哲學の貧困』の要領よき抄譯。一讀その大要を知悉し得る便利なもの。

定價送料共 一部三十錢

社會文献 何を讀むべきか

社會問題に關する主要な日本の文献を網羅したもので、初心者にも學徒にも極めて必要なもの。

定價送料共 一部三十錢

發行所 東京市外平塚町上蛇窪五三二 社會問題研究會

清新な趣味と實用に綾なす

內外のあらゆる流行品豐富

地方よりの御註文は御手紙にて通信販賣部宛に御願ひ致します

三越呉服店

―◇東京日本橋◇―

森永ミルク

ミルクは擇び方一つてす
母乳の代用に保健上の榮養に特に[illegible]品の叫ばれる今日『[illegible]』は當然！森永ミルクに限られてをります

森永製菓株式會社

日本麥酒鑛泉株式會社大阪支店

大阪市西區立賣堀

大正十二年一月三十日第三種郵便物認可
昭和二年二月一日發行
同 二年一月廿八日印刷納本
第五年第二號
每月一回一日發行
定價 一部十錢（稅五厘） 半年六十錢 一年一圓（稅共）
廣告料 一行一圓 一頁三百圓
發行所 東京市外大井町鈴ヶ森海岸一八〇 振替東京六九八三 進め社本部
發行編輯兼印刷人 福田狂二
大阪市東淀川區十三南之町 大阪營業所